

厚生保健委員会

幼児教育・保育課

浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針の策定について（修正案）

1 概要

令和 5 年 2 月 15 日から 3 月 16 日まで実施したパブリック・コメントの実施結果を踏まえ、浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針を以下のとおり修正し、令和 5 年 6 月から施行する。

2 パブリック・コメント実施結果

【意見提出者数】 81 人・12 団体

【意見数】 350 件（提案 28 件、要望 261 件、質問 61 件）

【案に対する反映度】 案の修正 34 件 今後の参考 43 件
盛り込み済 58 件 その他 215 件

【意見の傾向】

- ・規模適正化（統廃合）に関する意見が最も多く、拠点園の設定、認定こども園化、中山間地域への配慮に関する意見も多い。
- ・規模適正化（統廃合）と認定こども園化については、肯定的な意見と慎重な意見の双方が寄せられている。
- ・「どの箇所をどう変更する」といった具体的な意見は少ないが、特定の園への対応を求める意見も散見された。

3 方針修正内容

（1）パブリック・コメントの意見を踏まえ修正した箇所

修正前	修正後
4（1）② 拠点園 ・市立幼稚園・保育園の中から、 <u>運営継続が想定される</u> 「拠点園」を設定します。	4（1）② 拠点園 ・市立幼稚園・保育園の中から、 <u>園児数や施設の状況などを踏まえ</u> 「拠点園」を設定します。
6（2）拠点園の設定 ※ 小規模園（全園児 15 人以下程度）は、拠点園に設定しない場合があります。	6（2）拠点園の設定 ※ 小規模園（全園児 15 人以下程度）は、拠点園に設定しない場合があります。 ※ <u>面積が広く、統廃合した場合、著しく通園が困難になるなど、特段の事情がある場合には、拠点園の設定に考慮します。</u>

<p>7 (1) 地域性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、保護者や地域の理解と協力を得ながら、慎重に統廃合を検討します。</u> 	<p>7 (1) 地域性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、統廃合が必要とされる場合には慎重に検討を進めます。</u> ・ <u>中山間地域の市立園は、地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、統廃合検討開始の目安（2年続けて「5人未満」になったとき）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、保護者や地元自治会などとともに園のあり方について検討します。</u>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) その他

修正前	修正後
<p>(タイトル) 浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針</p>	<p>(タイトル) 浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針 ～ <u>子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現するために</u> ～</p>

浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針(案)

に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和5年2月から3月にかけて実施しました浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民81人・12団体から350件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市立幼稚園・保育園適正化等に関する方針」を策定し、令和5年6月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市立幼稚園・保育園の運営等に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和5年5月

浜松市こども家庭部 幼児教育・保育課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2117

FAX 053-457-2039

Eメールアドレス

youho@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和5年2月15日から令和5年3月16日			
【意見提出者数】	81人・12団体			
【意見数内訳】	350件 (提案28件、要望261件、質問61件)			
【提出方法】	持参(2) 郵便(8) 電子メール(30) FAX(17) 区協議会(36)			
【案に対する反映度】	案の修正	34件	今後の参考	43件
	盛り込み済	58件	その他	215件

目次

1	方針策定の目的・基本理念(意見数14件)	2ページ
2	就学前施設の現状(意見数7件)	3ページ
3	課題(意見数13件)	4ページ
4	基本方針	
	(1) 提供体制の確保(意見数79件)	6ページ
	(2) 運営の充実(意見数60件)	15ページ
	(3) 施設の整備(意見数17件)	21ページ
5	地域(中学校区)ごとの適正化等の進め方	
	(1) 市立幼稚園・保育園の両方がある地域(意見数0件) . . .	23ページ
	(2) 市立幼稚園のみの地域(意見数2件)	23ページ
	(3) 市立保育園のみの地域(意見数1件)	24ページ
	(4) 市立幼稚園・保育園がない地域(意見数1件)	24ページ
6	規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方	
	(1) 規模適正化(意見数17件)	24ページ
	(2) 拠点園の設定(意見数8件)	26ページ
	(3) 認定こども園化(意見数7件)	27ページ
7	方針運用にあたっての配慮事項等	
	(1) 地域性への配慮(意見数37件)	28ページ
	(2) 統廃合への配慮(意見数7件)	33ページ
	(3) 私立園との連携(意見数8件)	33ページ
	(4) その他(意見数11件)	34ページ
8	スケジュール(意見数3件)	35ページ
	その他(意見数58件)	36ページ

1 方針策定の目的・基本理念（14件）

要望 1	幼稚園、保育園、認定こども園では、国の所管も違っており、運営も違うはずである。同じような施設で、学童もある。それぞれの施設でどのように子供を育て、守っていくのか、この方針からではわからない。
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

本方針は、それぞれの施設の運営方針を示すものではなく、幼児教育・保育の提供体制や運営、施設のあり方など、今後の市立幼稚園・保育園の方向性（考え方）を示すものとして策定したものです。

質問 1	適正化とは何を指し、何を根拠にしているのか。行政や財政の視点だけで、真に子供と保護者、地域社会にとっての適正化になっていない。
-----------------	-----------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

適性化とは、少子化や保育需要の拡大、私立園の状況などを踏まえ、市立幼稚園・保育園を今の社会環境に合わせた体制にすることです。

方針策定にあたっては、私立園も含めた就学前施設の現状を分析し、幼稚園・保育園の保護者や職員などからもご意見を伺ったうえで、方針策定のために設置した検討会において検討してきました。

要望 2	「子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現すること」は、まさにそのとおりである。
要望 3	市立園・私立園、幼稚園・保育園・認定こども園、それぞれに良さがある。市は、家庭の方針や状況に沿った園選びができるよう、園を用意しておくべきである。
質問 2	「より望ましい幼児教育・保育環境」を市はどう捉えているか。

【市の考え方】その他

子供たちの健やかな成長を促すため、より充実した幼児教育・保育の環境を整えたいと考えており、そのためには、一定の園児数の確保を含め、市立幼稚園・保育園の課題を解決するとともに、私立園を含む、地域全体の幼児教育・保育の提供体制の充実と質の向上を図る必要があると考えます。

提案 1	「持続可能で、質の高い幼児教育・保育」とは、具体的にどういうことなのか記載が必要である。
要望 4	質の高い幼児教育・保育とあるが、何をもちて質が高いとするのか明確に感じられない。
質問 3	「質の高い」とはどういうことか明確にしてほしい。

質問 4	質の高い幼児教育・保育とは、どの様なものか。
-----------------	------------------------

【市の考え方】その他

幼児教育・保育の質とは、子供の健やかな成長を促すための環境であり、園児数や職員数などを含む組織体制のほか、幼稚園教諭・保育士のスキルや意欲、実践される教育・保育や教材、施設など、様々な要素で構成されるものであると考えます。このため、質の向上を図るためには多面的なアプローチが必要と考え、方針では、基本方針の中で「提供体制の確保」「運営の充実」「施設の整備」に分け、それぞれについて質を向上するための取り組みを設定しました。

要望 5	「持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現していく」については、保護者も望んでいることだと思う。
要望 6	適正化においては、幼稚園、保育園、認定こども園、どの場合においても保育の質を確保し、子供も、親も、保育者も、安心できるものとしてもらいたい。
要望 7	誰もが安心して子供を産み育てることが喜びとなる市の施策を望む。それが、質の高い幼児教育・保育ではないか。
要望 8	質の高い幼児教育・保育をどう定義するかが大事である。これからは、これまで以上に多様な人との関わりの中で、人と人との違いを当たり前として、それぞれに正しさがあることを教育現場が保証し、子供たちの価値観を育む必要がある。人間そのものを学び、出会う世界を探求していく対話的で主体的な深い学びを、現場がしっかり可視化していく必要がある。そのためには、園が多様であることが大切である。

【市の考え方】今後の参考

方針の運用にあたり参考とさせていただきます。

要望 9	基本理念の言葉は、単に言葉だけきれいに飾り、実態や現実を踏まえていない。「持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現していくため」についても言葉遊びにすら感じる。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

方針策定にあたっては、私立園も含めた就学前施設の現状を分析し、幼稚園・保育園の保護者や職員などからもご意見を伺ったうえで、方針策定のために設置した検討会において検討してきました。基本理念に基づき、基本方針に掲げた取り組みを推進いたします。

2 就学前施設の現状（7件）

提案 2	方針案にコスト面に関する説明が一切ない。公立園の運営に関わる経常的経費、施設の改修コストなど、税負担をしている市民が判断できるように説明すべきである。
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------

提案 3	公立園が税金で成り立っている以上、人件費を含む園運営に係る費用も掲載してもらいたい。
提案 4	各園の教職員・保育士の人数を掲載してもらいたい。

【市の考え方】 その他

方針の公表に合わせて、園運営に係るコストなどを資料編として公表します。

質問 5	令和5年度の待機児童数の状況はどうか。
---------	---------------------

【市の考え方】 その他

令和5年4月1日時点の保育所等利用待機児童数は0人でした。

質問 6	浜松市の就学前施設は、私立化していると考えて良いか。
---------	----------------------------

【市の考え方】 その他

私立認定こども園等の増加に伴い、私立園に通う園児数も増加しています。この様な状況の中、市立幼稚園・保育園の園児数は減少していますが、一定の受け皿を確保しており、現時点で私立化しているとは考えていません。

要望 10	旧浜松地域は、以前から幼児教育・保育を民間の幼稚園・保育園に任せている印象を受ける。
----------	--------------------------------------------

【市の考え方】 その他

旧浜松地域は従来から私立園が多く、それぞれの建学の精神等に基づく教育・保育が行われています。

要望 11	待機児童ゼロは、現場の努力の賜物であることを認識してもらいたい。
----------	----------------------------------

【市の考え方】 その他

私立園を含め、就学前施設に関わる全ての関係者のご尽力によるものと認識しています。

3 課題（13件）

質問 7	市立幼稚園の園児数減少の原因は、市はどのように考えているか。施設の老朽化も保護者ニーズに応えられていないものの一つなのか。
---------	---------------------------------------------------------------

質問 8	少子化の中で園児数も減っていると思うが、市立幼稚園の減少数が大きい要因をどのように考えているか。
質問 9	市立幼稚園離れが目立つように感じる。市立は私立に比べ迎えの時間が早いため、私立を選んでいるということか。
質問 10	三方原地区は、人口が増えているが、市立幼稚園の園児数が減っている原因は何か。

【市の考え方】 その他

少子化の進展、共働き家庭の増加などによる保育需要の増加、民間の認定こども園等の増加や幼児教育・保育の無償化などによる選択肢の広がりなどが、三方原地区を含む、市全体の市立幼稚園の園児数減少の要因と考えます。

質問 11	ライフスタイルの多様化や子育てに対する価値観の変化とは、どういうことか。
----------	--------------------------------------

【市の考え方】 その他

人生観や価値観などの幅が広がり、働き方や子育てと仕事とのバランス、教育方針など、各家庭の求めるものが多様化し、変化してきたことと捉えています。

要望 12	市立幼稚園・保育園は、もっと前から親のニーズに応じてほしかった。今後は、現状を踏まえ、子供たちが安心して学べる場を作ってもらいたい。
要望 13	市立園から私立園へ園児が流れているのは、市立幼稚園・保育園が親の要望に応じていなかったからではないか。市立の幼児教育は、とても大切だと思っていたため残念である。
質問 12	「保護者のニーズに答えられていない」とあるが、具体的にはどのようなことか。
質問 13	保護者のニーズに答えられていないとは、具体的にどのようなことか。都市部と中山間地域にニーズの違いはあるか。
質問 14	趣旨・目的にある「幼児教育・保育に対する市民のニーズの多様化」とは、具体的にどのようなニーズか。また、そのニーズの中に少人数での幼児教育・保育は含まれないのか。

【市の考え方】 その他

市立幼稚園・保育園の保護者を対象に行ったアンケート調査の結果では、園運営などに対する要望として、幼稚園では、①預かり保育の拡充、②給食の提供、③幼稚園教諭の質の向上、が上位となりました。この結果は、区の大部分が中山間地域に属する天竜区の市立幼稚園においても同様でした。保育園では、①給食の充実、②保育士の質の向上、③保育士の増員、が上位となりました。

一方、市立幼稚園・保育園の職員を対象に行ったアンケート調査では、保護者の

要望が高いと感じる内容として、幼稚園では、「適切な園児数の確保」が3位に入っており、保育園では、「駐車場完備・確保」が1位となりました。

また、施設の老朽化への対応についてもご意見をいただくことがあります。

なお、少人数保育のニーズについては、保護者に対して行ったアンケートの結果では、幼稚園4.7%（13/13位）、保育園3%（12/13位）となっていました。今回のパブリック・コメントにおいて複数のご意見・ご要望をいただいています。

今後も、適宜、保護者などへのニーズ調査を行い、課題などを把握したうえで、より良い園運営に努めます。

要望 14	「都市部と中山間地域では実情が多く異なっています」はその通りであるが、実情への認識に不安を感じる。当事者の立場になって考え直してほしい。
質問 15 16	都市部と中山間地域では、実情が大きく異なっているとあるが、具体的にどのように異なっているのか。

【市の考え方】その他

中山間地域には、市立保育園がなく、私立園も少ないため、地域の就学前施設を市立幼稚園が支えている状況です。また、地域内に対象年齢の子供が少なく、園児数が少ないため、市立幼稚園の小規模化が顕著です。そのため、過去に、いくつかの市立幼稚園において統廃合が行われており、その結果、通園エリアが広大となっている園があります。その一方で、小規模園における集団での学びを補完するため、他園との交流事業や、小学校との連携による異年齢交流が行われています。

これらの実情に加え、保護者や職員へのアンケート調査の結果などを踏まえ、方針を策定しています。

4 基本方針

(1) 提供体制の確保（79件）

①「集団での学び」の充実を図るため、規模適正化に努めます。（56件）

質問 17	規模適正化とは、実質的な「統廃合」であると思うが、この考えで間違いないか。
----------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

統廃合は、規模適正化の手段の一つであり、子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現するために行われるものと考えています。

提案 5	集団での学びでは、1学年15人以上の園児の確保となっているが、もう少し少人数でも集団での学びは十分である。保育には、集団の良さだけでなく、個々の成長に寄り添う保育の良さがある。ヨーロッパ基準とまではいかなくても、幅のある表現を望む。
提案 6	テレワークなどが始まった時代に合致した教育と考えれば、集団教育を毎日やる必要はない。

質問 18	1 学年 15 人以上を確保する「集団での学び」を重要視する根拠を示してほしい。
質問 19	「集団での学び」という考え方の意味が分からない。子供の数が多ければ多いほど質の高い教育ができるという根拠を示してほしい。
質問 20	少人数であっても充実した教育はできる。質の高い幼児教育とは何をもとに考えているか。
質問 21	15 人以上の園児の確保は全国的な基準か、もしくは市独自の基準か。
質問 22	1 学年 15 人以上の園児の確保とあるが、15 人以上が適正であることを示す根拠を示してほしい。
質問 23	1 学年 15 人以上は少ない印象を受ける。設定の根拠は何か。

【市の考え方】 その他

学校教育法第 23 条第 2 号において、幼稚園の教育目標として「集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと」を掲げており、子供の健やかな成長を促すためには、集団の中で生活する実体験は重要と考えます。

15 人の設定については、7～8 人×2 集団、5 人×3 集団、3 人×5 集団など、活動の内容や目的に応じて柔軟な対応ができる最低人数として設定しました。一般社団法人全国幼児教育研究協会が行った研究（平成 23 年度文部科学省委託「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」）では、「3 歳児では 20 人前後、4・5 歳児では 21 人以上 30 人くらいの集団が適切」との考察もありますが、現在の浜松市の市立園の園児数を勘案した結果、15 人以上の確保を目安に設定し、幼児期における教育・保育の充実と質の向上を図ることとしました。

要望 15	園児数が減少した市立園については、特別な箇所を除き、市立園だからこそ役割を終えたと判断し、閉園すべきである。
要望 16	他学年との関わりも大切だが、同学年の子供たちとの関わりが社会性の身に付けやすさなどにつながり、幼保の規模適正化は前向きに検討してほしい。
要望 17	子供には、色々な友達と関わり、充実した園生活を送ってほしいため、できるだけ早く統合を進めてほしい。
要望 18	集団での学び、友達との会話、自分とは違う意見に耳を傾けたり、自分の気持ちを人に伝えたりすること。幼稚園で体験して、身に付けてほしいことが、少人数すぎてできないことが増えている。母校がなくなる

	ことや地域から幼稚園がなくなることにより寂しさを感じる人が多いと思うが、これからの子供たちのための変化をお願いしたい。
要望 19	統廃合には賛成である。市立だけでなく私立も定員割れを起こしている。市立以外の施設や通園バスのエリアなども把握し、市立園が本当に必要なのか、地域ごと、広い視野で検討してほしい。
要望 20	少子化が進み、大幅な定員割れをしている中、果たして、公立幼稚園が60園も必要なのか。中山間地域など、市立幼稚園しかない地域では必要だが、統合できるところは統合しても良いと思う。
要望 21	統廃合に賛成する。一定数以上の園児を確保し、人員配置の適正化を図り、私立園とバランスがとれた運営財源の見直しを図ったうえで、集団教育の場として、環境が整うことを望む。
要望 22	園児数が45人(15人×3学年)に満たない園が多くある中、以前からこうなることはわかっていたはずである。なぜ、今まで対策をしてこなかったのか疑問が残る。園児数の減少により私立園の閉園も出てきている中、対応が遅すぎる。早急に検討すべきである。
要望 23	地域から声が出て、統廃合が進むことが理想だが、現実には「地元に残してほしい」という気持ちは強いと思う。しかし、子供たちにとってどうかという視点で、真剣に向き合ってほしい。園児が1人になったとき、それでも園を残したいという考えは疑問である。市立幼稚園の園児数は減少しており、ここで見直しをすべきである。指導者の資質を低下させないためにも、ここで良い方向に転換できると良い。
要望 24	園児数が減少している園は、近隣の拠点園との統合は仕方ないが、市立のままで進めてほしい。近隣に園がない場合は、保護者、子供に不利益とならないよう進めてほしい。
要望 25	居住地や就労の有無などに関わらず、通う園を選択でき、どこの園に通っても安全・安心な生活が当たり前に行き渡ることができる環境が理想である。数年前と比べ、選択できるようになったと思うが、まだ不安な部分もあるため、市立園には、この部分を補う形で適正化してほしい。
要望 26	少子化の中、統廃合はやむを得ないと思う。合併や新設した園において、安全・安心に、学びや自由な遊びができる充実した園になるよう、国や自治体が補助金やそれにあつた政策を打ち出すことが大切である。
要望 27	幼稚園が近くにあることや地域住民が園運営に関わってくれていることは、保護者の安心感につながっている。統廃合は仕方ないことだと思うが、慎重に進めてほしい。
要望 28	統廃合などについては、地域性を含め、慎重に検討してほしい。
要望 29	市立幼稚園では、保護者同士のつながりができ、そのまま同じ小学校に入学するので良かったという話を聞く。適正化の際には、市立幼稚園等に通う園児やその親の意見を聴き、慎重に検討してほしい。
要望 30	地域によっては、統廃合により通園が難しくなる地域もあり、中学校区に原則1園は厳しい。小学校と隣接している園は、適切な予算、人員、広報をしたうえで何年か様子を見るなど、丁寧な検討をしてほしい。

要望 31	統廃合は慎重に、子供の利益となるよう考えてほしい。
要望 32	規模適正化には反対である。園児が少なくても、我が子を市立幼稚園に通わせたい親はいるため、1人でも通いたいと思っている家庭がある場合は、閉園はやめてほしい。
要望 33	合理化や効率を優先しての統廃合はやめてほしい。それぞれの園に地域に根付いた歴史や市民の愛着があると思うため、地域住民の声や要望をしっかりと受け止めてほしい。
要望 34	園児数の減少は、少子化によるものとは思いますが、市立幼稚園・保育園の歴史を考えると、地域住民にとっては、統廃合や閉園は寂しく感じると思う。
要望 35	規模縮小は再考してほしい。規模縮小は、地域とのつながりが薄れることにつながる。地域との交流を通じ、人と触れ合うことが心の教育となる。
要望 36	集団生活が苦手な子が、少人数の幼稚園に通い始めて、先生と友達と仲良くなり、楽しい毎日を過ごしている。少人数だから統廃合するという考え方に強く反対する。お金がないから無駄な幼稚園を減らしていくという考えに強く反対する。
要望 37	幼稚園の統廃合には反対である。少人数だからこそ一人ひとりに目が行き届く、それぞれに合った丁寧な保育をしてもらっている。異年齢の子供との交流も盛んであり、先生の工夫により、色々な経験ができています。他園との交流や地域の人との交流があり、地域と密な関係を築けており、地域住民も喜んでいる。自分も通った思い出のある幼稚園を無くさないでほしい。
要望 38	幼児期に自然の中で、少人数で育った子供は、人間の基礎となる感性と人格が育つことは間違いない。
要望 39	発達障がい児など、支援を必要とする子供が増えており、少人数での支援を行うことができる施設は必要である。
要望 40	少子化や人口減少の中でも、共働き、核家族、シングル家庭、家庭支援が必要な家庭などによる保育の需要は高まっており、保育園は、今後も重要な施設であるという考えは同意でき、そのための受け皿は十分に必要である。
要望 41	市立保育園20園はなくさないでほしい。市立園は、適切な人員配置が保障されており、丁寧な保育がされている。私立園も増えているが、市立園が、地域の子育ての中心を担っていくべきである。市立と私立の両方があることが重要である。
要望 42	公務員教師の質の高さ、これまでの歴史と地域との密な関係、小学校との連携と関係性などを考え、市立幼稚園は存続させてほしい。

要望 43	市立園は地域・市民の宝である。簡単に減らさないでほしい。
要望 44	この方針は、単に園児数が減ったから施設を減らしたいというものか。保護者の中には、子供に何かあった場合に備え、自宅や勤務地に近い園を選んでいる人がいる。この様な人のことを考えず、統廃合してしまっ て良いのか。
要望 45	トップダウンではなく、保護者・職員の理解が得られるよう、説明会を開き、必ず案を事前に示してほしい。
要望 46	時代の流れの中で検討していることはわかるが、学校を含め、公立施設が減らされていくと、住みにくくなるという意識がある。説明が不十分と感じるため、詳細に、丁寧な説明が必要である。

【市の考え方】その他

人口減少や少子化、ライフスタイルの変化など、社会環境は大きく変わっています。その中で、子供たちにより良い教育・保育環境を持続的に提供していくためには、市立幼稚園・保育園の適正化等は必要と考えます。

一方、統廃合は、基本理念にもあるとおり、地域の実情に合わせ実施するものと考えており、検討にあたっては、保護者や地域住民、私立園などと十分協議したうえで進めます。

また、統廃合にあたっては、必要に応じ、少人数保育や地域とのつながりの強化などの対応についても検討します。

要望 47	むやみに統廃合に反対している訳ではないが、市立幼稚園の園児数減少対策と、地域の実情に合わせた統廃合の両面を検討してほしい。
要望 48	市立幼稚園がなくなると地域が衰退すると考えている住民が多い。5人という人数を設定するのではなく、少ない園児数でも良い教育・保育が実践できるような運営体制を構築して、閉園させない方法を考えてほしい。
要望 49	園児数が減少する中、運営を維持していくことは大変だと思うが、地域性もあるため、地域住民と話し合っ て、維持する方向を模索してほしい。
質問 24	市立園の園児数の減少は、市立幼稚園の地域に根ざした保育より、民間のバス通園などの利便性などに市民が移ったことではないか。減少している事態をどう改善しようとしているか示してほしい。

【市の考え方】その他

少子化が進む中、市立園の園児数減少対策は、私立園の運営に影響を与えることとなり、就学前施設の提供体制については、私立園の状況などを踏まえ、検討する必要があります。より良い環境を整えていくためには、規模適正化と運営の充実、施設の整備を同時に進める必要があると考えます。

要望 50	私立園との子供の奪い合いの状況が、市立幼稚園の園児数の減少に大きく関係しており、少子化の中、私立園が運営から手を引かざるを得なくなったときに、市としてどの様に体制を整えていくかも適正化の大きな課題である。
要望 51	市立園は、民間園で何か起こったときのセーフティネットとしての存在でもあるため、維持してほしい。子供を第一に考えた幼児教育・保育を願う。
質問 25	市内の私立園が定員割れを起こしている中で、市立幼稚園（山間部除く）を存続させる理由は何か。今後、私立園が何らかの理由で現在の市立幼稚園の様な状況になった場合、園長、教職員の給与等を含め、同じような対応をとってくれるのか。私立園も同様の対応をしてもらえるならこれで良い。

【市の考え方】盛り込み済

幼児教育・保育の保障の観点から、一定の公立園は必要と考えます。そのため、運営継続を想定する拠点園を設定することとしました。

提案 7	統廃合により生まれる施設、土地及び人材は、今後どのように活用されることになるのか、適正化による効果を説明すべきである。
要望 52	園児数で保育園を統合する前に、保育の質の向上や安心して預けられる環境づくりをするべきである。質を改善しない、量の縮小は考え直してほしい。

【市の考え方】盛り込み済

統廃合により生まれた人材や資源は、基本方針に掲げた運営の充実や施設の整備などに有効に活用することで、幼児教育・保育の質の向上に努めます。

質問 26	統合された場合は密にならないか。子供のパーソナルスペースやソーシャルディスタンスは確保されるのか。
----------	---------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

統廃合の検討にあたっては、施設の状況など、子供たちの活動スペースについても十分に考慮します。

質問 27	具体的にどの程度統廃合を進め、園を減らす考えているのか。
質問 28	以前も統廃合の話が持ち上がったが、保護者の反対意見等により、実施されなかったと聞いている。今回は実施できる見込みということか。

【市の考え方】その他

統廃合については、方針施行後、保護者や地域住民などと協議したうえで決定します。そのため、現時点で、どの程度の園を統廃合するのかについては決まっていません。

要望 53	中学生の不登校が増えている。不登校にならないように、園での教育をしてほしい。
------------------	----------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

不登校の原因は様々ですが、集団生活に不慣れであることも原因の一つになると考えられます。方針に基づき、幼少期から人と関わる力などを育むことができる環境づくりに努めます。

要望 54	市立保育園では、狭い部屋に大勢の子供たちが保育されており、ホールを保育室として使用しているところがある。小学校が30人学級と言われている中、保育園がそれ以上の人数で保育されているのは間違っている。
要望 55	「保育需要に合わせた定員の適正化」とは、具体的にどういうことか示してほしい。待機児童対策でホールや廊下まで面積に入れ定員を増やしたことがある。適正人数にすることで公立園を望んでも入れなくなるようなことはしないでほしい。

【市の考え方】盛り込み済

市立保育園では、現在、1クラス30人を超える定員を設定している園はありません。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づき、子供の数に応じた必要面積を確保しています。

方針施行後は、保育ニーズや施設の状況なども加味したうえで、必要に応じて、定員の変更などについて検討します。

② 中学校区をエリアとし、地域の市立幼稚園・保育園の拠点となる園（拠点園）を設定します。（9件）

提案 8	少子化が進む中、中学校区をエリアとすることは良い考えだと思う。市立幼稚園も小学校・中学校と同じように「校区制」にしてみてもどうか。
要望 56	中学校区をエリアに拠点園を設定し、統廃合を進めることに対しては理解できる。
要望 57	中学校区にまとめる案に反対する。地域格差を考慮しないと未来につながる人材は育成できない。お金ですべてを判断している社会に偏り過ぎていないか。
要望 58	中学校区にすると、広すぎて地域の子供をみる意識を薄めることにならないか。

【市の考え方】その他

現在の園児数の状況などから、小学校区では十分な園児数の確保が困難と判断しており、中学校区が適切と考えます。また、校区制についても、保護者の選択肢が減るとともに、利便性が低下する可能性があることから、市立園の園児数の確保がさらに難しくなると考えます。

要望 59	拠点園の果たす役割や方法などを明確に示してほしい。拠点園は、当初から中学校区ごとに設置することは無理があり、現在も多忙な幼稚園、保育園の負担がさらに増える。拠点園を作る場合、まずは1～2園のモデル園から始めてはどうか。
要望 60	拠点園を設定する理由、目的がはっきりしない。理由もないのに役割だけを与えることはおかしい。
要望 61	拠点園は、何をする園かわからない。
要望 62	拠点園とならない園が改善されないイメージが強い。拠点園は、小規模でも地域の特性を生かした、多機能をもち合わせた園など、園ごとに特色のある創意工夫のある園運営を、地域・保護者・職員・自治体が一緒になって取り組んでほしい。担当課には、全国の先例を学び、施策を進めてほしい。まずモデル園を設定し、問題点を十分検証し、進めてほしい。
要望 63	拠点園については、各園の特色や個性、多様性、通いやすさが失われないようにしてほしい。

【市の考え方】案の修正

拠点園は、運営継続を想定し、当該地域内において統廃合を進める場合、原則、統合先となる園で、これまでどおり、地域の特性などを生かした運営を継続します。

一方、「地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園」に選定された園については、通常の園運営に加え、幼児教育・保育に関する情報発信など、新たな取り組みを進める必要があるため、モデル園を設定し、効果や課題などを検証したうえで進めることとしました。

なお、「拠点園以外の園は、運営が継続されないのでは」との誤解を避けるため、以下のとおり記載内容を変更します。

《修正内容》

(修正前)

- ・ 市立幼稚園・保育園の中から、運営継続が想定される「拠点園」を設定します。

(修正後)

- ・ 市立幼稚園・保育園の中から、園児数や施設の状況などを踏まえ「拠点園」を設定します。

③ 多様な市民ニーズや地域の実情などを踏まえ、「認定こども園」の設置を検討します。(14件)

要望 64	拠点園に設定された場合は、認定こども園化をしっかりとやってもらいたい。保育機能があれば、子供が少ない地域でも園児数を確保できるはずであり、しっかりと予算を掛けて対策してほしい。
要望 65	就労している親が多くなっており、保育園の需要はあるため、認定こども園化は良い。

要望 66	認定こども園を増やすなど、社会環境の変化に合わせた施設の設置を検討してほしい。
要望 67	今後、園児数が減少傾向にあるなら、認定こども園への移行や設置に前向きな検討をしてほしい。
要望 68	幼稚園と保育園の双方の良さを兼ね備えた認定こども園を増設してほしい。きょうだい育児においても、認定こども園は有効である。
要望 69	中学校区に1園、認定こども園設立が構想されているが、必要なのは認定こども園ではない。
要望 70	これから必要なのは市立認定こども園ではなく、多様な建学の精神に基づいて運営し、地域や時代に合った教育、保育をすることができる私立を尊重すべきである。
要望 71	過去の2年保育から3年保育に変更した際の戸惑いや混乱、幼稚園を学校として維持していくことの重要性などを考えると、市立幼稚園と市立保育園は別々であるべきである。
要望 72	合理化や効率を優先してのこども園化はやめてほしい。それぞれの園に地域に根付いた歴史や市民の愛着があると思うため、地域住民の声や要望をしっかりと受け止めてほしい。
要望 73	園児数の減少は、少子化によるものとは思いますが、市立幼稚園・保育園の歴史を考えると、地域住民にとっては、統廃合や閉園に伴う認定こども園化は寂しく感じると思う。市立幼稚園は、預かり保育や一時預かり保育などでしのいでほしい。
要望 74	市立園を統廃合し、新たな認定こども園化することは、私立園を混乱させ、競争や経営を圧迫させかねない。
要望 75	認定こども園化に際しては、地域の特性に十分配慮していただき、市立園は、幼児教育が十分行き届いていない地域や支援が必要な子供たちのために力を注いでほしい。

【市の考え方】その他

認定こども園化については、先行的に実施した園により効果や課題などを検証したうえで、本格実施に向けて検討します。

また、定員変更などにあたっては、私立園への影響などを考慮します。

質問 29	認定こども園とは、どの様なものか。認定こども園のメリットを知りたい。
----------	------------------------------------

【市の考え方】その他

認定こども園は、幼稚園と保育園の機能をあわせ持ち、教育と保育を一体的に行うとともに、地域の子育て支援も行う施設です。メリットとしては、保護者の就労状況が変わった場合でも同一施設を利用できることなどがあります。

質問 30	市立幼稚園は、少子化で減っている訳ではなく、預かる時間が短いから減っているものと捉えている。認定こども園化により園児数減少を食い止め、統廃合をしなくても良い方向にもっていくことか。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

少子化が進む中、園児数や地域の状況などを踏まえ、統廃合は進めていく必要があると考えます。その一方で、社会環境の変化や保護者ニーズへの対応の一環として、認定こども園化や市立幼稚園における預かり保育の充実も同時に検討する必要があると考えます。

(2) 運営の充実 (60件)

- ① 市立幼稚園・保育園に期待される役割を意識した運営に取り組みます。
(21件)

質問 31	浜松市教育総合計画とは、どの様なものか。
------------------	----------------------

【市の考え方】その他

浜松市の教育理念や教育に関する具体的な施策などを示す計画であり、市立幼稚園・保育園は、この計画に位置付けられた幼児期の教育内容（浜松市幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」）に基づき、教育・保育を行います。

要望 76	市立園は、利益ではなく子供を育てるという役割を担っており、幼児期に一番大切な「心を育てる」ことができる。地域に根付いた幼児教育を行える場を作る必要がある。サービスだけでなく、心を育てる教育に投資すべきである。
要望 77	集団登園や行事などへの参加を通じて、子供の成長する姿を見ながら親も一緒に成長していけるなど、地域の幼稚園としての市立幼稚園の良さを維持していけないか。また、これらのことを今まで広くアピールしてきたか。

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園においては、地域住民とふれあい、地域のことを知ることで地域への愛着を育む教育を実践してきており、これらの活動は、各園ホームページのブログにて紹介しています。

今後も、各地域・園の特色を生かしながら、地域への愛着を育む教育・保育の充実に努めます。

質問 32	指導訪問とは何か。
------------------	-----------

【市の考え方】その他

市立幼稚園・保育園の教育・保育の質の向上を図るため、幼児教育の専門職員が、各園の要望に応じて園を訪問し、保育参観や園内研修を通じて、保育改善に向けたアドバイスを行うものです。

要望 78	現在の市立幼稚園は、幼稚園教諭が代わっても、同じ様に園児と向き合ってくれている。研修を通じて、持続可能で質の高い幼児教育を徹底してほしい。
要望 79	1・2年目の保育士の質を上げる指導や実践的な研修が必要である。
要望 80	社会で不適切保育が問題になっている。行政には指導等で教育の質を管理し、より良い教育を行ってほしい。
要望 81	平等に研修を受けられる環境づくりが重要である。また、専門家等が各園に出向き、実態に合わせたサポートを施し、必要な研修を行い、各園での主体的な学びや成長が育まれるシステムづくりが重要である。不適切保育と言われることがないよう、各園が「それぞれに違って、それぞれにいい」という保育現場を目指してほしい。
要望 82	これからの時代の幼稚園教諭・保育士は、様々な業務を持つのではなく、担任は、その年年に出逢う子供のスペシャリストであってほしいと思う。様々な業務を行っていても、本当の意味での質の高い教育・保育はできない。

【市の考え方】盛り込み済

いただいたご意見も参考に、研修や指導訪問の充実などに努めます。

要望 83	療育が必要な子供の受入れ施設が不足していると感じている。市立・私立が連携して、地域の全ての子供の育ちを支えていけると良い。
要望 84	市立幼稚園では、発達障がい児や外国人の子どもが増えているように感じるが、先生はとても丁寧に対応してくれていると思うため、質の維持を望む。
要望 85	病児・病後保育施設が少ないため、増やしてほしい。
要望 86	ケア児、支援を必要とする子供の受入れのため、臨床心理士のような専門職を配置してほしい。
要望 87	市立幼稚園には、支援を要する子供や外国にルーツを持つ子供が多く、教育の目的が果たせないという声がある。この様な問題も把握して施策を進めてもらいたい。
質問 33	1学年15人以上の園児と支援を必要とする子が共に学び、成長できる保育の具体的な対策を知りたい。

【市の考え方】盛り込み済

支援を必要とする子供や外国にルーツを持つ子供の受入について、市立園が果たす役割は大きいと捉えており、今後も、私立園と連携・協力をしながら進めていく必要があると考えています。

共に学び成長できる幼児教育・保育を推進するため、いただいたご意見も参考に環境整備や研修などの具体的な対応について検討します。

要望 88	保育については、子供たちの安全や成長などをしっかり保障できるようにお願いします。
要望 89 90	市立園の役割をしっかりと果たしていけるように、保護者や地域の要望をしっかりと受け止め、自治体が責任をもって運営してほしい。
要望 91	市の保育のスタンダードな基準（保育内容、配置基準、職員の処遇など）は、市立園によるところが大きい。市立園は、調整弁的な役割ではなく、市が直営できる強みを持って運営してほしい。
要望 92	市立園は、他施設のモデルとして、園児数の減少をマイナスと捉えるのではなく、保育の質の向上のチャンスと捉え、全国に向けてアピールしてほしい。「子育てしやすいまち・浜松」を目指し、市民、子育て中の保護者が「浜松にいて良かった」と思える施策の実施を願う。
要望 93	市立幼稚園・保育園などの公立施設は、その地域に必要であると市が判断して設置されているものと考えており、昨今の通園バスの置き去りや不適切保育などの社会動態の中で、重要な役割を果たしていかなければならない。

【市の考え方】その他

市立幼稚園・保育園の役割に関するご意見として承ります。

② 社会環境の変化に対応した運営を推進します。（3 2 件）

提案 9	「一時保育の子供は現在入所できている」と聞いているため、預かり保育や一時預かり事業の充実については記載する必要はない。
要望 94	預かり保育、一時預かり事業が、以前より充実してきている実感があり、公立幼稚園を選んだ保護者にとってはありがたく感じている。
要望 95	保護者のニーズが高い預かり保育や一時保育の実施は、拠点園に限定せず、可能な園から直ぐに取り組む必要がある。
要望 96	市立幼稚園の少人数化を止めるため、市立幼稚園で預かり保育をやるべきであり、少なくとも要望がある園は開始してほしい。
要望 97	預かり保育が需要に対して不足しているという話をよく聞くため、施設整備や人員確保が可能になれば、さらに環境整備が整うのではないか。
要望 98	私立園はバス送迎や預かり保育、給食の有無を選べるなど、融通が利くことが選ばれる理由である。市立園でも預かり保育などを行っているが、長期間の休みの時にはないなど十分ではない。市立で取り入れられる範囲で保護者のニーズに合わせていくことが大切である。市立園にも

	良さはあるので、良さを活かしつつニーズに合わせていってほしい。
要望 99	幼稚園や保育園、小学校に子どもを通わせる親のほとんどは共働きであるが、そうした共働き世帯にとっては預かり保育や、一時預かり事業などが大切と思うため充実してほしい。
要望 100	市立幼稚園の預かり保育については、保育時間を15時まで延長する、長期休暇中の保育日数を増やすことなどの対応を検討してはどうか。
要望 101	市立園は、保育時間が短かったり、保護者が参加することが多かったりするため、園児数が減っているのではないかと。園運営を見直す必要がある。
要望 102	市立から私立へ流れる要因として、延長保育に対応している市立幼稚園が少ないことと、通園方法が限られていることがあると思う。統廃合をするのであれば、そのあたりについても考慮してほしい。
要望 103	私立園は送迎があり、預かる時間も長いため、私立園を選ぶ保護者が多いのではないかと。施設を新しくすることも大事だとは思いますが、保護者が預けやすい園かどうかの方が大事である。
要望 104	市立幼稚園は午後2時頃までしか預かってもらえないことが園児数減少の原因である。もう少し長く預かってもらえれば園児数が増えるのではないかと。預かり時間の拡大を要望する。
要望 105	市立幼稚園は、保育時間が短いことが問題である。私立を見習い、保育時間を延ばしてはどうか。
要望 106	市立幼稚園の預かり保育を実施している園は、園児数が増えているのかがわかる表現を加えてほしい。

【市の考え方】盛り込み済

預かり保育や一時預かり事業については、園児数の増加が目的ではなく、社会環境の変化や保護者ニーズに対応するための施策と考えています。新規実施、時間延長など、事業の充実にあたっては、職員の配置や増員が必要となるため、原則、統廃合に合わせて実施することを想定しています。

また、バス送迎についても、同様に職員の配置や増員が必要となるため、著しく通園が不便になる地域において、統廃合に合わせて実施することを想定しています。

要望 107	市立幼稚園については、満3歳児から入園できる仕組みについても、柔軟に対応してほしい。その際には、地域・保護者とともに意見交換しながら新しい体制づくりができるとうい。
質問 34	市立幼稚園のみの地域については、人材確保や施設整備が必要なため認定こども園化は難しいと聞いたが、満3歳児クラスの設置は検討してもらえるのか。

【市の考え方】今後の参考

満3歳児クラスの設置については人材確保や施設整備などの課題があります。方針に基づき施策を進めていく中で、保護者などのご意見も踏まえ、代替手段を含め、実現の可能性について検討します。

質 問 35	少数保育の方が良い子供のために、小規模園の検討はあるのか。
-----------------------	-------------------------------

【市の考え方】 その他

地域の実情に応じて小規模園でも運営を継続することはありますが、少人数保育は、園児の成長に応じて、同一施設において集団生活に移行できるなどのメリットがあり、各園における少人数保育での対応が基本になると考えます。

要 望 108	園には、アトリエリスタやペタゴジスタ、キンダーカウンセラー、支援が必要な子のスペシャリスト、多言語スタッフ、写真家、園庭や保育室環境づくりの専門家、保育アシスタントなど、多様な専門家を配置することで、質を保障し、子供たちの育ちを豊かにすると考える。
------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

社会環境の変化に対応した運営に関するご意見として承ります。

提 案 10	保育園などでは職員が足りていないのではないか。この方針において、保育士の人数について言及がない。
要 望 109	園児数に応じて職員数は決まっていると思うが、質の高い保育のために職員数を増やすことはできないか。
要 望 110	配置基準に、もっと目を向けてほしい。
要 望 111	早急な配置基準の改善を求める。
要 望 112	基準いっぱいまで定員を増やし、ぎゅうぎゅう詰めの保育を保育士の献身的な労働で支えてきたが、最近は、「不適切な保育」として非難の対象となっている。配置基準こそが不適切である。配置基準の反省なしに「質の高い保育」「望ましい保育」は語れない。狭い部屋に大勢の子供を入所させることが「虐待」と言われる時代も近いと思う。
要 望 113	ヨーロッパでは、日本の保育士配置基準が虐待にあたるのではないかと言われている。不適切保育というなら配置基準が不適切保育である。不適切を改めるべきである。
要 望 114	園児数の減少をマイナスに捉えるのではなく、配置基準の改善を含めた質の向上へのチャンスとするべきである。
要 望 115	方針において、市立幼稚園・保育園で働く職員配置の適正化について触れられていない。小学校でも1クラス30人学級になっている時代に、保育園では、4・5歳児は30人に1人しか職員がつかない。職員の配置基準を今の時代にあったものにしてほしい。

要望 116	質の高い幼児教育・保育を市立でこそ実現すべきである。園児数の減少をマイナスと捉えず、職員の配置基準の改善を含めた質の向上につながれば良いのではないか。
要望 117	質の高い幼児教育・保育を実現させるためには、保育士一人当たりがみる子供の人数を減らすべきである。
要望 118	支援が必要な子供が増えており、職員配置基準の見直しを求める。
要望 119	度重なる保育の事件で、配置基準の見直しが問われている。少人数で一人ひとりに関わる時間を増やせるよう望む。
要望 120	市立保育園では、3歳児15人に対して職員1人、4・5歳児は20人に対して職員1人の職員配置で考えてほしい。
質問 36	質の高い幼児教育・保育を図るための園児数と幼稚園教諭・保育士の適正な配置バランスについて市の考えを伺う。

【市の考え方】その他

市立保育園については「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」、市立幼稚園については「幼稚園設置基準」に基づき職員を配置しています。保育所の配置基準については、近年、不適切保育などの問題を契機に見直しに向けた議論が国で進んでおり、この動向に注視しながら、市の考え方を整理します。

③ 拠点園の中から、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を設定します。(7件)

提案 11	市民から選ばれていない園が拠点園として「地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う」ことは不適格である。
要望 121	地域の幼児教育推進拠点の設置には賛成である。市立・私立の垣根を超えて、情報交換や幼小連携などが進むことを期待している。
要望 122	私立園の置かれている環境も厳しいものがあると思うため、私立園と市立園の連携促進に大きく期待している。
質問 37	地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る園とは、具体的に何をする園なのか。

【市の考え方】その他

地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園については、私立園を含む就学前施設との連携を推進するとともに、情報発信などを行います。具体的な活動内容については、モデル園の選定と合わせて、方針施行後に検討します。

本格実施に移行する際には、モデル園での検証結果を踏まえ、活動内容や園数な

どを検討したうえで、役割を全うできる園を選定します。

要望 123	地域の子育てセンターの様な施設が必要である。私立・市立関係なく、幼保小連携の橋渡しをし、公的な機関として真に必要な子育て機関としての機能を求める。
要望 124	市立幼稚園・保育園では、現在も「子育て支援」を実施しているが、これでは不十分ということか。これからの施策について予定を示してほしい。
質問 38	地域の子育て支援機能の具体的な支援内容について示してほしい。

【市の考え方】その他

子育て支援機能として、現在、市立幼稚園・保育園で実施している「未就園児サークル」や「親子ひろば」で行う「子育てに関する相談機能」の充実などを想定しています。具体的な活動内容については、モデル園の選定と合わせて、方針施行後に検討します。

また、私立園を含め、小学校との連携・接続については、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を中心に推進します。

(3) 施設の整備（17件）

① 計画的な施設修繕に取り組みます。（10件）

要望 125	少子化による園児数の減少は、行政の力ではどうしようもないが、施設の老朽化は行政や議会の責任である。数年前から、園庭整備やLED化、エアコンの設置など、幼稚園の施設整備に力を入れているとは感じているが、長期計画を立てて建替えていくべきであった。
要望 126	拠点園に設定された場合は、園舎の建て替えをしっかりとやってもらいたい。現在、雨漏りの修理ですら時間が掛かっており、幼稚園に適切な予算が充てられていない。園舎が新しくなれば、子供が少ない地域でも園児数を確保できるはずであるため、しっかり予算を掛けて対策してもらいたい。
要望 127	老朽化は進んでいくため、数園は建て替えをしてほしい。老朽化で働きたいと思う人が来ない。
要望 128	市立幼稚園・保育園の老朽化に早急に対応してほしい。私立園は、近代的な設備やトイレがある園が多く、あまりに公私の差が大きいと感じる。
要望 129	施設の老朽化対策が必要な園は、早急を実施してほしい。
要望 130	建物の老朽化は、子供たちの安全・安心と快適な環境を考慮し、建て替えが難しければ、早急に大規模改修を進めてほしい。

要望 131	施設の改修は、どんどん進めてほしい。
要望 132	安全のため、老朽化している施設の早期改修を望む。
要望 133	施設整備については、その場その場ではなく、長期の計画を立てて進めることを望む。

【市の考え方】 その他

市立幼稚園・保育園の施設については、安全・安心な教育・保育が提供できるよう維持保全を図っています。施設整備は、長期的な財政負担の軽減・平準化と市民への安全で快適な建築物の提供を目的とした浜松市公共建築物長寿命化計画などにに基づき、長寿命化のための改修工事を順次、進めます。大規模改修等による長寿命化を原則としますが、統廃合や認定こども園化などに伴い必要性が生じた場合には、移転や新設を検討します。

質問 39	大規模改修でどのくらい長寿命化するのか知りたい。
----------	--------------------------

【市の考え方】 その他

浜松市公共建築物長寿命化指針において、公共建築物は、建築後おおむね20年、60年を目途に実施する小規模改修と、おおむね40年を目途に実施する大規模改修を計画的に実施することで長寿命化を図り、目標使用年数を原則80年と設定しています。大規模改修工事では、劣化した機能や性能を新築時レベルまで回復させることを目的とし、屋根、外壁、内装、電気・空調設備、水回りの衛生機器や配管などを改修します。

② 統廃合などに合わせ、効率的・効果的な整備方法を検討します。(5件)

要望 134	今後少子化が加速し、施設が余っていく中で新たに施設を作り、税金を投入することは無駄である。
要望 135	統廃合を行い、拠点園を設けるにしても、基本的には今ある施設を利用するなど、新たな設備投資は抑えてほしい。
要望 136	市立保育園は園舎が狭く、駐車場も狭いため、認定こども園化にあたっては、公設公営での移転・新設を望みます。

【市の考え方】 盛り込み済

既存施設の活用を優先しますが、必要性が生じた場合には、移転や新設を検討します。

質問 40	統合された場合は駐車場が完備されるのか。
-----------------	----------------------

【市の考え方】盛り込み済

統合先の園の状況にもよりますが、必要と判断した場合には整備について検討します。

要望 137	市立幼稚園・保育園の既存施設が改修不能となった場合、学校施設と共有することを検討してほしい。
------------------	------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

既存施設の状況などに応じて、学校等との施設の一体化を含め、施設の複合化を検討します。

③ 環境等に配慮した整備を推進します。(2件)

要望 138	医療的ケア児以外でも、以前からバリアフリー化や障がい児保育に対する施設整備は望まれていた。
------------------	-----------------------------------------------

要望 139	太陽光や風力発電などを積極的に取り入れ、子供たちにエコな生活を示していけるようにしてほしい。
------------------	------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園・保育園の環境等に配慮した整備に関するご意見として承ります。

5 地域（中学校区）ごとの適正化等の進め方

- (1) 市立幼稚園・保育園の両方がある地域（0件）
- (2) 市立幼稚園のみの地域（2件）

要望 140	市立幼稚園のみの地域については、園児数の少ない市立幼稚園を原則1園拠点園に設定する必要があるのか。私立幼稚園のある地域は、必ずしも1園の必要性は感じない。
------------------	-------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

6 (2) 拠点園の設定の注釈のとおり、「私立園が地域の需要を十分カバーできている中学校区」や「小規模園」については、拠点園を設定しない場合があります。

要望 141	市立幼稚園のみの地域でも、保育園や認定こども園を希望する可能性があるのではないか。
------------------	-------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

市立幼稚園のみの地域については、私立園への影響や施設整備の必要性などを考慮し、原則、預かり保育の充実による対応を想定しています。

(3) 市立保育園のみの地域 (1件)

要 望 142	市立保育園のみの地域については、それなりの需要があり、一時預かり事業も全園で行っているため、原則1園を拠点園とするなどの考え方を支持する。
---------------	-----------------------------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

市立保育園のみの地域の適正化等の進め方のご意見として承ります。

(4) 市立幼稚園・保育園がない地域 (1件)

提 案 12	市立園がない地域でも、必要であれば、市立園の新設の検討が必要である。
--------------	------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

幼児教育・保育の保障の観点から、注釈のとおり、私立園による幼児教育・保育の提供が難しくなった場合には、提供体制について検討します。

6 規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方

(1) 規模適正化 (17件)

提 案 13	2年続けて5人未満で統廃合の検討を開始するとしているが遅すぎる。民間のコスト意識ではあり得ない。民間園がない地域であれば存続するしかないが、現在、在園児が20人に満たない園は、直ぐにでも統廃合の検討を始めるべきである。
提 案 14	市立幼稚園の園児数減少による統廃合は速やかに進めるべきである。統廃合検討開始の目安である「2年連続5人未満」の設定は、あり得ない。5人未満では、集団でのあそびや生活の体験は十分得られず、その状況が続くことは子供の育ちにとって健全ではない。10人未満になったら、即検討すべきである。
提 案 15	統廃合検討開始の目安の「2年続けて5人未満」は、「10人」でも良いと感じる。
提 案 16	園児数が10人以下の施設は、統廃合の方向で考えていくべきである。
提 案 17	2年連続5人以下の根拠を知りたい。保育現場において、5人とは、人と出逢う中で、人の気持ちに気づいたり、協同して目標に向かったりする、人間性の豊かな育ちを保障する人数には満たないと考える。少なくとも、学年で10人から15人くらいの規模で、自分を知ること、相手を知ることの学びが起こる。15人は、いつも一緒に過ごすという訳ではなく、3歳児だと7人×2グループ、5人×3グループなど、活動の目的によって構成が柔軟に変えることができることが重要である。1学年5人での運営は、子供にとって大人の人数が十分すぎ、かえって子供たちの育ち合いを邪魔してしまう可能性もあると思う。各施設の費用対効果も低いと考える。

要望 143	「5人以下は駄目で統廃合だ、15人は必要」と決めつけるのは、金銭判断だけで、子供を育てる目標とはき違えている。
質問 41 42	2年続けて5人未満の根拠を示してほしい。

【市の考え方】 その他

「5人未満」については、本市の市立幼稚園の現状などを踏まえたうえで、最低限の人数として設定したものです。

また、「2年続けて5人未満」は、検討開始の目安であり、運用にあたっては、保護者や地域住民への意向調査を行うなど、丁寧に協議を進めます。

質問 43	令和3・4年度の新入園児が「2年続けて5人未満」だった場合、統廃合の検討を開始するのか。
-----------------	----------------------------------------------

【市の考え方】 その他

方針施行時点において、統廃合検討開始の目安に該当する園については、統廃合の妥当性について検証を開始する予定です。

要望 144	保護者、地域の要望は、行政から提案するのではなく、要望を受け止める形で進めてほしい。
------------------	--------------------------------------------

【市の考え方】 その他

保護者や地域に園の状況を知っていただくための情報提供などは必要と考えています。保護者や地域からの要望がある場合は、その内容について、協議・検討したうえで進めます。

質問 44	私立園が増加していけば、市立園はなくしていく方向で考えているのか。また、市は、私立園についての対応はしないのか。
-----------------	----------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

私立園を含めた地域の就学前施設の状況などから地域の保育需要やニーズを検証したうえで、統廃合が合理的と判断した場合には、検討を開始することになります。

市は、法令等に基づく権限において、私立園の認可などに関わります。

要望 145	閉園した園については、違う形で市民が利用できる施設への移行を望む。
要望 146	行政コスト削減のため、閉園となった施設の土地や建物は売却することが望ましい。

要望 147	閉園となった施設は、地区の子育て支援センターとして親子が自由に遊び、活動する地域の文化的な活動場所としてほしい。また、閉園となった園の職員は、子育て支援センター員として活動してもらおう。
要望 148	統廃合により空いた園をすぐに有効活用できるようにするため、統廃合の検討と合わせて進めてほしい。
要望 149	統廃合となり閉園した施設は、子育てに悩んでいても相談できず孤立している家庭やシングルマザー、子供の急な病気などで預け先がなく困っている方などに対応する子育て支援の拠点となり、ファミリーサポートもさらに充実してほしい。
要望 150	閉園した園は、幼稚園教諭・保育士の研修施設や子育て支援ひろばとして活用する。

【市の考え方】今後の参考

閉園後の跡地利用については、保護者や地元自治会などのご意見も確認したうえで、活用方法を検討します。今回いただいたご意見については、跡地の利用方法を検討する際の参考とさせていただきます。

(2) 拠点園の設定（8件）

提案 18	私立、市立園を合わせて供給過多となっている状況で、今後の保育需要に合わせるのであれば、都市部の市立園において中学校区に一つの拠点園を作るのではなく、私立園と連携したうえで送迎が困難となる地区のみに拠点園を作るべきである。
提案 19	私立園が十分受け皿になり得るため、中学校区に1箇所という考え方はやめ、統廃合を進めるべきである。
提案 20	市立園の配置だけで判断しようとしているが、市立・私立の区別なく、子育て支援と受け皿のバランスを念頭に対処すべきである。
提案 21	拠点園は、必要な地域だけに設け、必要がないところは決めなくて良いのではないか。

【市の考え方】盛り込み済

「拠点園の設定」の注釈のとおり、私立園が地域の需要を十分カバーできている中学校区については、拠点園を設定しない場合があるとしています。

提案 22	中学校区をエリアに拠点園を設定し、統廃合を進める場合、都市部では影響が少ないが、市立幼稚園しかない中学校区がほとんどの中山間地域では、エリアの面積も広いため、拠点園を2箇所設置するなど、地域の実情に配慮すべきである。
要望 151	通園距離が遠いと保護者の負担と不安が大きくなるため、拠点園の通園エリアをしっかりと検討してほしい。

【市の考え方】案の修正

中学校区が広いなど、統廃合が難しい地域もあるため、「拠点園の設定」の注釈として、以下の記載を加えます。

《修正内容》

(修正前)

※ 小規模園(全園児15人以下程度)は、拠点園に設定しない場合があります。

(修正後)

※ 小規模園(全園児15人以下程度)は、拠点園に設定しない場合があります。

※ 面積が広く、統廃合した場合、著しく通園が困難になるなど、特段の事情がある場合には、拠点園の設定に考慮します。

提案 23	拠点園設定にあたり、私立園が地域の需要をカバーできているか、現在の資料からではわかりにくいいため、わかる資料を提示してほしい。
----------	-----------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

方針の公表に合わせて、私立園も含む地域ごとの就学前施設の一覧を資料編として公表します。

質問 45	質の向上を図る役割を担うモデル園は、拠点園全てがモデル園になるのか。
----------	------------------------------------

【市の考え方】その他

拠点園の中から1~2園をモデル園に選定し、効果や課題などを検証します。その後、検証結果を踏まえ、選定する園数などを調整し、本格実施に移行します。

(3) 認定こども園化(7件)

提案 24	現在のニーズに合わせ、既存の市立幼稚園・保育園を一斉に認定こども園化することは難しいか。
提案 25	中山間地域においては、保育需要の保障のため、拠点園となる幼稚園の認定こども園化を原則とすべきである。
提案 26	郊外にある園児数の少ない市立幼稚園・保育園を統合して、認定こども園にしたらどうか。

【市の考え方】その他

認定こども園化については、先行的に実施した園により効果や課題を検証したうえで、今後の拡大などについて検討します。

要望 152	認定こども園化については、県内でいくつかの問題があがっていることから、現場の職員(職員組合を含む)や保護者としっかり話し合い、納得がいくように進めてほしい。
-----------	--------------------------------------------------------------------------------

要望 153	本市の認定こども園は、民間主導で進めており、市立園は、地域の反対もあり廃案となった。まず、職員の学習からはじめてほしい。
------------------	--------------------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

認定こども園化にあたっては、保護者のニーズや私立園への影響のほか、対象となる園とも十分協議したうえで検討を進めます。

質問 46	市立の認定こども園が設置された場合、運営方針については、既存の私立認定こども園も含め、市の方針に従うことになるのか。
-----------------	------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

市立認定こども園については、市の方針に基づき運営することになります。私立認定子ども園については、市立園と同様に法律や基準などを遵守する必要がありますが、運営方針については、運営者がそれぞれに設定することになります。

質問 47	認定こども園化については、需給状況を十分に検証し慎重に検討することになっているが、保育需給の検証はどの様に行うのか。
-----------------	------------------------------------------------------------

【市の考え方】その他

保育需要の検証については、年齢別の人口動態や当該地域及び近隣地域の私立園・市立園の利用率などによる検証を想定しています。また、子育て世帯へのアンケート調査なども必要に応じて検討します。

7 方針運用にあたっての配慮事項等

(1) 地域性への配慮 (37件)

要望 154	幼稚園が閉園すると、地域にある小中学校への入学者に影響するため、中学校区に拠点園1園と示していただいているとおり、中山間地域の小さな幼稚園が存続できるかたちとしてほしい。
要望 155	地域の子供たちの存在は、地域の将来にとって重要であるため、中山間地域の幼稚園、小中学校が今後も存続していける形を考えてほしい。
要望 156	活動の充実や効率性などを考えると、子供たちはある程度の人数の中で一緒に活動する方が良いことは理解しているが、中山間地域の幼稚園、小中学校については、園児・児童数が1人でも残してほしい。
要望 157	少子化社会において、質の高い幼児教育を実現すると統廃合はイコールではない。中山間地域での学校・幼稚園の統廃合は、地域の活力の減少、若者の流出につながり、移住者の受入も難しくなるため反対である。
要望 158	少子化・人口減少が進む中、幼稚園・保育園の見直しは必要かと思うが、拠点園に統合された場合、自宅から拠点園まで片道20kmの距離があり、通わせることができない。効率的な市政運営を進めようとする浜松市にとって、中山間地域に暮らす住民を一気に減らす施策となるが、これによって誰が恩恵を受けるのか。SDGsの文脈でこの課題を考えると中山間地域の幼児教育・保育環境の質の向上に向けた施策こそが正

	しい施策である。明るい未来に向けた施策を提案していただけることを切に願い、良識に期待する。NPO法人などにおいて、中山間地域と都市部との関係人口の増加に資する活動を行い、子育て世代の関心と呼び込もうとしている。この様な活動の芽を育み、活力を伸ばす政策に転換することを切に願います。
要望 159	地域において人口流出を食い止め、まちおこしに取り組んでいる中、幼稚園等が車で40分もかかる所に統合するのは、あまりにも考えがひどい。教育とは何か。地域のあり方、園児の役割、地元との交流、文化を伝え、郷土愛を育むべきである。行政は、山間地域における現状、何をすべきか意見を聴き、反映させるべきである。市街地中心の考えではなく、市全体の教育・文化・伝統を如何に未来につなげて行くか考えてほしい。
要望 160	浜松市は、中山間地域への移住を進めているが、幼稚園・保育園がなければ、若い世代は移住できない。方針は、市の施策と矛盾している。幼稚園・保育園は地域の宝である。
要望 161	統廃合は、移住を推進している浜松市としては、中山間地域の活性化ではなく、過疎化に拍車を掛けようとしているのではないか。
要望 162	中山間地域の振興、移住促進、持続可能な地域、安心して暮らせる地域、これらの言葉をよく聞くが具体性はなく、むなしく聞こえる。その裏で幼稚園を統合・廃園、まったく矛盾している。
要望 163	市では、移住政策として都市部から若い人を中山間地域へ誘致しているが、幼稚園、保育園数が少ないとなるとうまくいかないことも考えられるため、その点を考慮してほしい。
要望 164	統合すると通園が困難になる地域は、現在の市立園をそのまま存続させる。
要望 165	距離的に無理な統合はやめてほしい。
要望 166	通園が困難な家庭がある場合は、統廃合を中止してもらいたい。
要望 167	中山間地域は、同じ基準ではいけない。
要望 168	中山間地域と都市部では、生活様式などが大きく異なるため、別々に検討を重ねることが重要である。
要望 169	施設の老朽化や少子化により、適正化は必要だと思うが、地域により実情が異なるため、それぞれに応じる必要がある。

要望 170	中山間地域では、1学年15人以上の園児の確保は現実的ではない。人数を示すとそこが大きなハードルと考えてしまう。区再編も行われる中、柔軟に基準を見直したり、新しい基準を作ったりするなど区の実情に合わせて対応してほしい。
要望 171	地域性への配慮は必要である。
要望 172	中山間地域の子育てにとって、園があることは大きな安心や希望になっている。進め方には、十分配慮と説明が必要である。
要望 173	市立幼稚園は、利便性の低い地域に多くあり、保護者は、自宅や勤務地の近くに預けたいという思いが強いはずである。私立園がない場所など、市立幼稚園を必要とする地域は必ずあると思うため、このことにも配慮して検討してほしい。
要望 174	中山間地域では、就学する校区のある園に通うといった入園目的がある。統廃合する場合は、利用者が納得する説明をするべきである。
要望 175	幼稚園に限らず、小中学校が統廃合されると、子育て世代が地域から流出してしまうなど地域づくり全般の課題がある。そのような課題を含め、保護者の意見や地域、自治会の意見を丁寧に聞き進めてほしい。
要望 176	中山間地域の重要性と、お金と教育のあり方を再構築してほしい。幼児教育と中高生、社会人の教育はそれぞれ違うはずであり、幼少期の生活や体験が、その子の考え方を作り上げていく。「人を育てるとは」について、今一度、根本的に考え直してほしい。
質問 48	既に集団での学びを補完するため、他園や小学校との交流事業が行われている園は、統廃合は必要ないという判断もあり得る。統廃合ありきの表現になっていないか。
質問 49	中山間地域の地域性を地理的な面からしか捉えていない。地理的要因以外は、配慮しないということか。
質問 50	中山間地域にとって、子供の教育環境と移住促進政策は密接な関係がある。これを中山間地域の地域性として配慮しなかった理由は何か。
質問 51	規模適正化に伴う統廃合という言葉は、ネガティブな印象を与える。地元の幼稚園が、常にネガティブな印象を持たれているとしたら、そこで暮らす人、そこに移住する人にどのような影響を与えるか考えたことがあるのか。幼稚園・保育園の存続問題は、その地域の持続に関わる事でもあるという認識はないのか。

【市の考え方】案の修正

統廃合は、基本理念のとおり、地域の実情に合わせて行うものであり、地域の実情には、通園距離を含む地理的要因や過去の統廃合のほか、市の施策なども含まれるものと考えます。

一方、中山間地域については、3課題で記載のとおり、都市部と実情が大きく異

なっており、特に地域の実情を考慮する必要があると認識しています。そのため、中山間地域においては、統廃合検討開始の目安（2年続けて5人未満）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、統廃合を前提とした検討としないことなどを示すため、以下のとおり記載内容を変更します。

《修正内容》

（修正前）

- ・ 中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、保護者や地域の理解と協力を得ながら、慎重に統廃合を検討します。

（修正後）

- ・ 保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、統廃合が必要とされる場合には慎重に検討を進めます。
- ・ 中山間地域の市立園は、地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、統廃合検討開始の目安（2年続けて「5人未満」となったとき）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、保護者や地元自治会などとともに園のあり方について検討します。

<p>質問 52</p>	<p>令和4年5月の厚生保健委員会において、当局から「一律の基準ではなく、地域の実情に応じた、地域性を考慮しながら進めていけるような方針の策定を考えていきたい」との発言がある。方針案では、一律の基準が示され、中山間地域については配慮事項に留まっている。方針変更となった理由は何か。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

方針を変更しているわけではありません。統廃合検討開始の目安は、保護者や地域と協議を始める時期を示しているものであり、統廃合などについては、保護者や地域住民、私立園などと協議したうえで、個別に決定していくものと考えています。

<p>質問 53</p>	<p>令和5年2月の厚生保健委員会において、「幼稚園の統廃合は、市が進めている移住促進政策に影響が出るのではないか。移住を担当する課とも連携してほしい」との意見があった。方針作成のための検討会に移住に関わる担当課が加わっていないのはなぜか。</p>
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

方針策定のための検討会は、子供たちにとってより望ましい幼児教育・保育を実現するための施策に直接関係していることを視点に委員を選定し、令和4年5月に立ち上げました。検討会の中では、中山間地域の現状を踏まえ、配慮を求める意見があり、方針案に「中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮し、慎重に統廃合を検討する」旨を記載しました。

一方、中山間地域において、市立幼稚園の存続は、移住政策に影響を与える可能性がありますので、統廃合などを検討する場合には、担当課と連携を図りながら調整を進めます。

<p>要望 177</p>	<p>地域への配慮は支持する。中山間地域の子供たちが「集団」に慣れるように配慮をお願いします。</p>
-------------------	-----------------------------------------------------

要望 178	中山間地域では、熊幼稚園の様に幼小一貫教育の様な形とすれば「集団での学び」の充実を図ることができる。
要望 179	現在、熊地域で行われている連合教育を充実させていけば、集団での学びは解決できる。

【市の考え方】その他

他園との交流事業は、イベント的な側面があり、また、小学校との交流事業は、異年齢交流となるため、同年齢との集団生活を前提とした「集団での学び」においては、補完的な位置づけになると考えます。一方で、通園距離など地理的な要因などにより統廃合が難しい園もありますので、その場合は、他園や小学校との交流事業により教育・保育活動を補完します。

質問 54	「統廃合が難しい園」とあるが、具体的にどのような条件によって、統廃合が難しいと判断するのか。
----------	------------------------------------------------

【市の考え方】その他

通園距離などの地理的要因や過去の統廃合なども考慮したうえで、保護者や地元自治会などと協議し、判断することを想定しています。

提案 27	中山間地域にある少人数の市立幼稚園の存在は、地域に住む人々の心のよりどころになっている事は否めない。少人数だからこそ、質の高い幼児教育・保育が実践されているともいえる。保護者にとっても、子育ての大きなよりどころであり安心感につながっている。中山間地域において、地域に根ざしている市立幼稚園は、園児数を如何に増やすかこそ、これからやるべき課題だと思う。保育時間が子育て家庭のニーズに合わないことが園児数減少の要因と考えられるため、保育標準時間を遅くしてみてもどうか。また、夏季保育なども期間を長くしてみてもどうか。統廃合や認定こども園化を進めるのではなく、市立幼稚園の良さを改めて見直していくことが市民サービスにつながると思う。
提案 28	ニーズの多様化の中には、少人数教育・保育も含まれると考える。中山間地域では、自然の中で少人数教育を積極的に進めていく、という施策を打ち出すことはできないか。
要望 180	天竜区は保育園がなく、保育ママ制度に委ねられているが機能していない。地域から人口流出は必然であり、保育が安心して受けられる体制を作ってもらいたい。
要望 181	天竜区内には未就園児を預ける市立園がなく、苦勞している。北遠5地域それぞれに認定こども園をつくっていただきたい。どこでも、お母さんたちが働くことができる環境を創出していただくよう、保育園環境を中山間地域であってもしっかり充実するようお願いする。

【市の考え方】今後の参考

中山間地域の幼児教育・保育の提供体制に関するご意見として参考とさせていただきます。

(2) 統廃合への配慮 (7件)

要望 182	最後の卒園児を見送るまで幼稚園は残すべきである。
-----------	--------------------------

【市の考え方】盛り込み済

統廃合の時期については、保護者の意向を確認するなどの調整を図ったうえで決定することとしています。

要望 183	通園バスの検討は必要である。
要望 184	市立園も通園バス等を導入し、統合により通園距離が遠くなった家庭も登園可能とすることができないか。
要望 185	園を統廃合すると、送迎がない場合、通いづらくなる。料金の面でも、公立と私立で多少料金に差があっても、通わせやすい方を選ぶ。この点についても考慮して考えてほしい。

【市の考え方】盛り込み済

統廃合により、著しく通園が不便となる地域の通園バスの導入に関するご意見として承ります。

要望 186	統廃合によって通園時間が長くなることで子供に負担を掛けるのではないか。
要望 187	「著しく通園が不便になる地域」との記載があるが、「著しく」とはどの程度を想定しているのか。小さな子供が通園することを考慮して検討してほしい。
質問 55	通園が長距離、長時間となると子どもの心身への影響が大きい。統廃合がなされた場合には、どの程度の通園距離や時間を限度として設定するのか。

【市の考え方】その他

通園時間等については、園児の心身の負担を考慮することを最優先に、統廃合検討時の関係者との調整の中で保護者などからご意見を伺い、判断したいと考えています。

(3) 私立園との連携 (8件)

要望 188	預かり保育や通園バスなど保育や通園バスなど保育サービスを増やす多機能化は、更に運営コストが増えることとなり、民間園の経営を圧迫することにもつながりかねないことを説明すべきである。
要望 189	私立園にとって、市立園の拠点園の設定、認定こども園化については、園存続も危ぶまれる脅威であると感じている。配慮事項等にある「定員変更や施設整備などにあたっては、私立園に及ぼす影響を考慮します」を将来にわたり守っていただきたい。

【市の考え方】その他

方針に基づき施策を進める際には、運営コストや私立園への影響についても十分に考慮します。

要望 190	私立園との連携については具体性に欠けている。市としてどうして行くのか、踏み込んだ記載を望む。
要望 191	拠点園設定後には、市立・私立が共に研修・交流ができ、全体の保育の向上につながるような役割を果たすことを望む。
要望 192	現在、市立園と私立園との連携は取れていないと感じる。お互いの幼児教育・保育について情報交換、交流の場は必要である。

【市の考え方】その他

私立園と市立園の連携については、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園がコーディネータ役となり、進めていくことを想定しています。具体的な活動内容については、いただいたご意見も参考にして、方針施行後、モデル園の選定と合わせ検討します。

要望 193	園児数を見るとかなりの数が統廃合となると推察する。私立園では保育士不足という話も聞くため、職員についても官民連携することが重要である。
要望 194	支援が必要な子供を私立園でも受け入れることができるように、市立園の職員を私立園に派遣・移籍することにより、市立園職員が失職しないようにできないか。

【市の考え方】その他

私立園と市立園の連携に関するご意見として承ります。

要望 195	私立園の定員の拡大により、待機児童はゼロになったが、園の体制が整っているとは到底思えない。質の良い保育を提供するための施策を考えてほしい。
-----------	-----------------------------------------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

私立園への配慮や幼児教育・保育の質の向上に関するご意見として承ります。

(4) その他(11件)

質問 56	「幼稚園教諭・保育士等の確保がさらに難しくなる」とあるが、どういふことか。
----------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

私立園も含む市全体の就学前施設の定員増加に伴い、幼稚園教諭・保育士等の必要数が増加していることに加え、業務負担の軽減や幼児教育・保育の質の向上に向けた保育士の配置基準の見直しも議論されており、幼稚園教諭・保育士の確保がさらに難しくなることを想定しています。

要望 196	市立幼稚園の先生は一生懸命やっているのに、市のやる気が感じられず、待遇面も恵まれない先生が気の毒。若い先生はやってられないと思う。先生に対してもっと手厚く、将来にわたって安心感を与えてほしい。
要望 197	保育士の給与などに、もっと目を向けてもらいたい。
要望 198	人材確保のため、幼稚園教諭・保育士の処遇改善をしてほしい。ケア労働者の賃金引き上げができていない。手当として引き上げをしてほしい。やりがいにつながる。
要望 199	幼稚園教諭・保育士のレベル向上、賃金の増加も必要である。
要望 200	市立保育園では、処理できない量の仕事があり、職員は疲弊し、退職していく職員も多くみられる。保育士確保のために新規採用職員を増やし、人員を確保してほしい。
要望 201	現在、市立保育園の土曜保育利用者が多いため難しいとは思いますが、土曜保育の統合により、地区別合同利用を進めれば、職員の働き方改革につながると思う。
要望 202	私立園には人員を登録し、配置するエージェントシステムがあると聞いており、興味がある。
要望 203	幼稚園教諭の子供が、保育園に通わなくてはいけないことに矛盾を感じる。幼稚園教諭の子供が、幼稚園に通える体制づくりを望む。

【市の考え方】今後の参考

幼稚園教諭・保育士の確保や処遇改善に関するご意見として参考にさせていただきます。

要望 204	「効率的・効果的な幼児教育・保育」という考え方はどうかと思う。子育ては、非効率的で効果がすぐに表れることより、ずっと後になって見えてくるものではないかと思う。
要望 205	効率的・効果的との記載があるが、子供や保護者の想いに寄り添えないところや難しくなることもあると思う。乳幼児期に大切な、人との関係、安心できること、居場所など大切に考えてほしい。

【市の考え方】その他

効率的・効果的を目指すのは「幼児教育・保育の提供体制の整備」のことであり、教育や保育そのものを質に関係なく効率化するというものではありません。

8 スケジュール（3件）

要望 206	スケジュール内容や時期がわかりにくいため、明確に分かりやすく示してほしい。子供が通園している園が、今後、いつどうなるのか知りたい。
-----------	-------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

方針は、本市の市立幼稚園・保育園全体の今後の方向性（考え方）を示すものです。各園の統廃合などについては、園児数の状況や地域の実情、保護者のニーズなどの意向を踏まえて検討を進めていくため、現時点で具体的な計画をお示しすることはできません。

一方、拠点園については、令和5年度に選定し、お示しする予定です。

要望 207	市立幼稚園・保育園の今後の修繕予定を示してほしい。
------------------	---------------------------

【市の考え方】 その他

スケジュールに記載のとおり、施設の修繕等に関する計画は、令和6年度に作成する予定です。

要望 208	スケジュール通りに焦って進めず、しっかり話し合い、内容の濃いものを期待する。
------------------	----------------------------------------

【市の考え方】 その他

スケジュールに関するご意見として承ります。

その他（58件）

要望 209	少子化対策の施策の決定、進め方にスピード感がない。今後の意思決定、推進はさらにスピード感をもって進めてほしい。
要望 210	大人にとっての適正化ではなく、未来を担う子供や困っている人、援助が必要な福祉へ十分な支援をしてほしい。
要望 211	日本において子供たちをどの様に守り、育てるのかという考えがあって、初めて市立幼稚園・保育園をどうするのが言えるはずである。このことをしっかり考えるべきである。
要望 212	ハードを優先するのではなく、ソフト面の充実に力を向けてほしい。家庭教育や親子の結びつき・団らん・交流などを密にするための支援や人材の育成をPRし、具体的な施策を立案してほしい。幼児期は、親の愛情が最優先であり、各施設はそれを下支えするべきである。
要望 213	この国の予算は、子供の教育にお金をかけていない。
要望 214	区を再編し、公立園を減らすなら、その税金を福祉や子供のために費やすべきである。
要望 215	統廃合をきっかけに、無駄をなくし、必要なところに予算をつけてもらい、市立も私立もなく、浜松市全体で子育てをサポートできる体制を整えてほしい。

要望 216	財源を大切にしてほしい。子育て世帯に対して、可能な限り、平等な配分を望む。ただし、支援が必要な子供を育てる世帯に対しては手厚くしてほしい。
要望 217	不適切保育などで幼児期の教育について注目されている。今こそ、多くの人に幼児教育の素晴らしさと重要性について知ってもらおうチャンスである。
要望 218	市立幼稚園を民間委託するという手法もあると思うが、幼稚園に限らず、子供たちを育て、教育することは日本の未来につながるため、行政でなければできない手厚い幼児教育を目指してほしい。
要望 219	市は、公立園の運営に自信と責任をもって施策を進めてほしい。どこに住んでいても安心して子育てができ、乳幼児の子育て環境が日々より良いものとなっている実感ができるように努めてもらいたい。
要望 220	当事者である保護者の意見を積極的に取り入れてほしい。
要望 221	市立幼稚園を出た子供は、小学校に入った後、学業・運動面において秀でていると感じている。このことを調査してデータ化してほしい。データ化の結果、市立幼稚園が優れているようであれば、しっかり予算を掛けて、市立幼稚園・保育園の教育に力を入れてほしい。
要望 222	子供たちが豊かに育つことを持続可能にしていくためには、大胆な教育保育改革が必要である。運営費等について、よりフレキシブルな内容を盛り込み、園の特徴が生かされる運営をサポートする体制がその一つである。浜松市が、先駆的な取り組みとして、多様な価値観を教育の中で具体的に取り入れ、全ての市民のウェルビーイングに繋がる街になることを期待する。
要望 223	市立園の認定こども園化と並行して、園環境の整備、幼稚園教諭・保育士の確保と質の向上、適正人数への改正など、思いきった幼児教育への投資をお願いしたい。

【市の考え方】その他

幼児教育・保育を含む子育て全般のご意見として承ります。

要望 224	雄踏地区は、幼稚園・保育園ともに人数が多い。認定こども園とする場合、中学校区に2園設定することはできないか。
要望 225	雄踏地区は、市立幼稚園・保育園それぞれ、ある程度の園児数が確保できている。拠点園設定にあたっては、借地であることがネックになると思うが、広域な地域をカバーできる場所に立地しているため、柔軟な対応を望む。
要望 226	中川幼稚園は、園舎を立て直し、未就園児クラスを追加してほしい。また、ハード面だけでなく、予算と人をしっかり充て、広報をしっかり行ってほしい。

要望 227 228	引佐北部みさと幼稚園を認定こども園にしてほしい。認定こども園ができないなら、満3歳児クラスを検討してほしい。
要望 229	園児数が減少する中、幼稚園の統廃合を検討することは当然の流れと理解しているが、引佐北部みさと幼稚園は、既に3園が統合した園であり、幼稚園がなくなると困る家庭がほとんどである。共働きの家庭は、遠方の保育園を利用している姿も見受けられる。幼稚園の統廃合が、働き盛りの市民の生活に直結していることを知ってほしい。
要望 230	浜北区において、市立幼稚園の園児数が大きく減少した理由は、預かり保育がないことである。私立幼稚園は、その点は融通がきく。浜北区は、私立幼稚園が多くある訳ではないため、市立幼稚園がなくなると非常に困ることになる。統廃合については、この点を踏まえ検討してもらいたい。
要望 231	新原幼稚園を拠点園に選定し、預かり保育の実施などで時間延長してほしい。認定こども園的な機能としてほしい。新原幼稚園の存続が難しい場合には、公園や親子サークルなどの活動場所として、近所の子供たちなど、地域が利用できる場所・施設として開放してほしい。
要望 232	中学校区を単位に拠点園を設置とあり、熊地域は二俣幼稚園となるが、自宅からバスに乗り、そこから片道30～40分通わせるのは物理的に無理である。
要望 233	これまで「村おこし」をやってきた中で、幼稚園の適正化は、「どういうつもり？」と憤りすら感じる。熊地区は、子供の人数に関わらず「小学校・幼稚園は残す」ことが従来からの方針である。早急に、再度、このメッセージを示していただきたい。
要望 234	熊地域でも、仕事と保育の両方を求めて二俣地域の保育園を利用しているケースがあるため、熊幼稚園を幼保一体化、「浜松型」の認定子ども園化を図り、「安心して移住し、子育てをしてほしい」とのメッセージを市が発信したらどうか。
要望 235	園の統廃合は、熊地区で開始しようとしている保育ママ制度を利用した活動にとって、大きな問題となる。
要望 236	熊地域では、地元NPOが市立幼稚園の旧園舎を利用し、保育ママ制度を活用した保育事業を柱の一つとした事業を実施することになっている。その一方で、この方針案では、地域にある市立幼稚園は令和5年度から統廃合の検討対象となる。市とNPOの無償貸借期間は10年となっているが、この矛盾する状況をどう考えれば良いのか。
要望 237	現在、行っている熊・上阿多古・下阿多古の3園交流、そして二俣幼稚園との交流を行っている。これを週2～3日行うなど、統合するのではなく、現在の独立園を保ちながら、大人数保育を経験させたらどうか。
要望 238	春野中学校区については、通園に係る園児の負担や保護者の通勤状況、第一次産業を守ることを考え、気田幼稚園と犬居幼稚園の双方を残し、犬居幼稚園は認定こども園化してもらいたい。犬居幼稚園を認定こ

	ども園化しても、当面は園児数が少なすぎる問題が残るため、気田幼稚園の統合より犬居小学校との交流を増やすなど、子供同士の関係性を育む方が地域のためによい。
要望 239	犬居幼稚園については、通園エリアが広いが通園バスがないため、小学校の始業時間を遅くし、幼稚園の始業時間を早めるなどして、スクールバスへの混乗を実現してもらいたい。
要望 240	水窪地域には、市立幼稚園がない。中学校区に私立幼稚園があるが、園児数が少なく、集団での学びという観点から保護者も心配していると思う。私立園ではあるが、こうした現状を市はしっかり把握してもらいたい。

【市の考え方】 今後の参考

統廃合は、地域の実情に合わせて行うものであり、保護者や地元自治会などと協議のうえ進めます。また、拠点園の選定や認定こども園化についても、方針施行後に検討することとしています。いただいたご意見については、個別の園や地域に対するご意見として参考とさせていただきます。

要望 241	通園バスを導入する際には、実際の走行ルートを確認するなどして、ルートに適した車体や設備としてほしい。また、通園時間が長い場合は、園児の負担軽減のため、音楽を掛ける、車内装飾を可能とする、換気できる窓を一定数用意するなど、工夫をしてほしい。
要望 242	市立幼稚園で使用しているバスを人数に応じた大きさに変更すべきである。
要望 243	市立幼稚園で通園バスを利用している園児の保護者から利用料金は徴収しているのか。もし、全額公費負担になっているのなら、保護者に一部負担させるべきである。
要望 244	市立幼稚園離れの原因として通園方法が大きいと考えている。家庭の事情が多様化している中、現状の「一か所に集合してから集団で徒歩通園」を頑なに貫くのではなく、「各自直接送迎」や「通園バス」などを通園方法に加え、保護者が選択できるようにしてほしい。
要望 245	産休・育休をした保育士の代わりに保育士をしっかり補充してほしい。
要望 246	市立幼稚園は、現時点でも質が高いと感じているが、各園に権限を与え、差別化し、PRしていけば、もっと魅力的な園になる。
要望 247	保育園において、3歳児以降は、主食費を徴収し、ご飯などを家庭から持参しなくても良いようにしてほしい。
要望 248	オムツに関して名前を書くなどの準備が大変なので、月額対応の有料サービスを取り入れてほしい。

要望 249	明らかに保育園でなくてよい子供は、幼稚園へ転園させるべきである。
要望 250	市立保育園を閉園して、そのままになっているところがあり、地域に還元できていない。

【市の考え方】 その他

市立幼稚園・保育園の運営に対するご意見として承ります。

要望 251	市立園であっても、幼稚園・保育園の職員は、有資格者を望みます。
------------------	---------------------------------

【市の考え方】 その他

園長やサポート職員の一部を除き、有資格者を配置しています。

要望 252	保育園に入っていたとしても、幼稚園に入園する際には、再度入園申し込みをすべきである（もう一度精査）。
------------------	----------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

現在も、保育園などに在籍していた園児が市立幼稚園へ入園する場合は、入園をお申し込みいただいています。

要望 253	方針作成のために設置した検討会の構成員と開催回数を知りたい。
------------------	--------------------------------

【市の考え方】 その他

検討会は、庁内会議として、庁内関係課長のほか、市立・私立幼稚園長・保育園長の代表、学識経験者及び自治会・保護者の代表など計12名で構成し、会議は、令和4年度に計5回開催しました（方針案策定までに4回、パブリック・コメント終了後に1回）。

質問 57	市立幼稚園・保育園には、都市部、中山間地域それぞれに特有の課題があることは理解できるが、方針策定にあたり、検討会では、統廃合ありきで検討していたのではないか。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

少子化などにより園児数は減少しており、この現状への対応策として規模適正化が必要との認識は、委員・有識者にあつたものと認識しております。一方で、統廃合は、「子供たちにより良い教育・保育環境を提供するためのものである」ことを共通認識としており、統廃合ありきで議論が進むことはなかったと考えています。

質問 58	方針作成にあたり検討会を開催しており、包括外部監査も関係していると思うが、パブリック・コメントを実施するにあたり、なぜ、監査報告や検討会の議事録や資料にアクセスできるリンクが貼られていないのか。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

方針策定の経緯や検討の過程については、今回、意見募集を行う内容に含まれていませんでしたので、リンクを貼るなどの対応はしていません。

質問 59	方針作成にあたり、保護者等へのアンケート調査を行っていると思うが、自分が住んでいる地区の市立幼稚園の保護者は、アンケートを受けていないと言っている。また、未就園児の保護者にもアンケートを行っているが、どのようにアンケートを行ったのか。
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

令和4年1月、市立幼稚園・保育園在園児の保護者、未就園児サークルや親子ひろばなどの参加者、園職員に対して、紙通知などにより Web アンケートへの協力を依頼しました。その結果、在園児保護者3,926人、未就園児保護者717人、園職員458人から回答をいただきました。

また、令和4年9月には、私立園の在園児保護者、職員アンケートも実施し、保護者7,732人、職員1,111人から回答をいただきました。

アンケート結果は、方針案作成の際の資料として活用しました。

要望 254	方針は、全保護者に知らせる必要がある。
要望 255	この方針案だけではよくわからない。パブコメの結果や令和5年度に決定する事項などの情報は、職員・保護者へ発信してほしい。

【市の考え方】 今後の参考

パブリック・コメントの結果や市の考え方の公表にあたっては、募集時と同様に紙やホームページで情報発信いたします。また、方針施行後、具体的な施策の決定・実施にあたっては、適宜、情報発信する予定です。

要望 256	年度末にパブリック・コメントを実施するのは何か意図があるのか。市民の声を集めることが困難な時期ではないか。年度の初めと終わりは避けて募集してほしい。
-------------------	----------------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

特段の意図はありません。パブリック・コメントの実施時期についてのご意見として承ります。

質問 60	私立園と市立園にかかる親の負担の差はどのくらいか。
------------------	---------------------------

【市の考え方】 その他

0～2歳の保育料は、私立・市立に関わらず、保護者の所得に応じた費用を負担していただくこととなり、負担額に差はありません。また、3～5歳の幼稚園・保育所等の利用料については、私立・市立に関わらず、令和元年10月から無償となっています。

一方で、3～5歳の給食費（主食費・副食費）については、私立は園ごとに異な

り、市立は、幼稚園と保育園で異なります。また、市立幼稚園は、学校給食提供園とそうでない園でも負担額は異なります。

質問 61	園児虐待などの不適切保育などに対して、市はどの様に対処していく方針か。
-----------------	-------------------------------------

【市の考え方】 その他

指導監査などにより実態把握と抑止に努めるとともに、研修などを通じて、職員の規範意識を高め、未然防止を図ります。

要望 257	幼稚園の規模適正化に合わせ、小学校の適正化も合わせて検討してほしい。
------------------	------------------------------------

要望 258	小中一貫化を進めていくにあたっては、地域住民が要望を出していくことは難しいため、市がプランを示し、地域住民に説明するべきである。
------------------	------------------------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

学校規模適正化の取組に対するご意見として参考とさせていただきます。

要望 259	学童の定員の見直しを求める。
------------------	----------------

【市の考え方】 その他

核家族化の進展や女性の就業率上昇による、放課後児童会に対するニーズを踏まえつつ、児童の安全で快適な居場所が確保できるよう努めます。

要望 260	中山間地域の子供の減少は、人口減少が大きく、単に子供がいない問題だけではない。
------------------	-----------------------------------------

要望 261	園児数の減少は人口減の表れであることを認識し、限界集落にならないように打開策を立てるべきではないか。
------------------	----------------------------------------------------

【市の考え方】 その他

中山間地域の課題とその対応に関する意見として承ります。

浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針

～ 子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現するために ～

1 方針策定の目的・基本理念

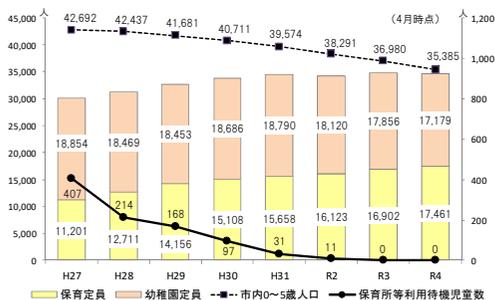
市立幼稚園・保育園の適正化等の目的は、**子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現すること**です。

少子化や人口減少が進行するとともに、幼児教育・保育に対する市民ニーズが多様化する中、社会動態や保育需要の変化に適応し、地域性等にも配慮した、持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現していくため、今後の市立幼稚園・保育園の方向性（考え方）を示す方針を策定します。

〈基本理念〉 質の高い幼児教育・保育を、官民が連携し、地域の実情に合わせ、持続的に提供する。

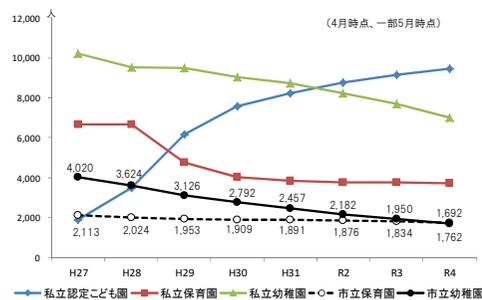
2 就学前施設の現状

(1) 就学前施設定員と人口、待機児童数の推移



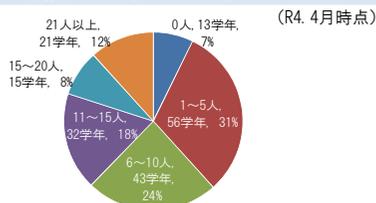
- ・ 保育所の施設整備等により定員は年々拡大しています。
- ・ 令和3年、4年の4月時点の保育所等利用待機児童数はゼロとなりました。

(2) 施設種類の園児数の推移



- ・ 市立幼稚園の園児数は平成27年から令和4年までの7年間で半数以下に減少しています。

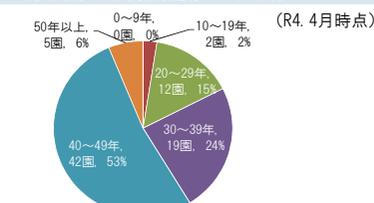
(3) 市立幼稚園1学年あたりの園児数



【市立幼稚園（60園180学年 休園含む）】

- ・ 園児数10人以下の学年が6割以上あり、小規模化しています。

(4) 市立幼稚園・保育園施設の築年数



【市立幼稚園（60園）保育園（20園）】

- ・ 築後40年以上の施設は全体の約6割あり、老朽化が進んでいます。

3 課題

- ・ 市立幼稚園は、園児数が大幅に減少し、**集団での学びと持続可能な運営が難しくなっている園が増加**しています。
- ・ 市立保育園は、今後、少子化の進行により園児数の減少が予想されており、**保育需要に合わせた定員の適正化が必要**です。
- ・ ライフスタイルの多様化や子育てに対する価値観の変化などにより、**市立幼稚園・保育園の現状（制度・施設など）が現在の保護者のニーズに答えられていない部分**があります。
- ・ 市立幼稚園・保育園ともに施設の老朽化が進んでおり、子供たちの安全・安心と快適な環境を確保するためには、**施設の改修が必要**です。
- ・ **都市部と中山間地域**では、幼児教育・保育の提供体制等の**実情が大きく異なっています**。

4 基本方針

(1) 提供体制の確保

※ 規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方は「6」を参照

- ① 「**集団での学び**」の充実を図るため、**規模適正化に努めます**。
 - ・ **1学年（3歳児以上）15人以上の園児の確保**を目指し、統廃合などを検討します。
 - ・ 保育需要や既存施設の保育環境に合わせた、適正な定員の設定に努めます。
- ② 中学校区をエリアとし、地域の市立幼稚園・保育園の拠点となる園（**拠点園**）を設定します。
 - ・ 市立幼稚園・保育園の中から、**園児数や施設の状況などを踏まえ「拠点園」を設定**します。
- ③ 多様な市民ニーズや地域の実情などを踏まえ、「**認定こども園**」の設置を検討します。
 - ・ 地域の実情や保護者などのニーズ、施設の状況などを踏まえ、認定こども園への移行が合理的と判断した場合には、既存の市立幼稚園・保育園の「**認定こども園化**」を検討します。

(2) 運営の充実

- ① 市立幼稚園・保育園に期待される役割を意識した運営に取り組みます。
 - ・ 浜松市教育総合計画など、市の施策に基づく教育・保育を実践します。
 - ・ 地域への愛着を育む教育・保育を実践するとともに、私立園を含め、小学校との連携・接続を推進します。
 - ・ 研修や指導訪問の充実などにより、幼稚園教諭・保育士の資質向上を図ります。
 - ・ 支援を必要とする子供や外国にルーツを持つ子供たちが、共に学び成長できる幼児教育・保育を推進します。
 - ・ 災害時の拠点としての機能強化を図ります。
- ② 社会環境の変化に対応した運営を推進します。
 - ・ 拠点園の**預かり保育や一時預かり事業などを充実**します。
- ③ 拠点園の中から、**地域全体の幼児教育・保育の質の向上**を図る役割を担う園を設定します。
 - ・ 私立園を含む地域の幼児教育・保育の連携を推進する役割を担い、幼児教育・保育に関する情報発信を行います。
 - ・ **地域の子育て支援機能**（未就園児への支援など）を充実します。

(3) 施設の整備

- ① 計画的な施設修繕に取り組みます。
 - ・ 大規模改修などによる**施設の長寿命化**を図ります。
 - ・ **予防保全**による計画的な施設の保全・維持を図ります。
- ② 統廃合などに合わせ、効率的・効果的な整備方法を検討します。
 - ・ 拠点園に必要な機能を踏まえた整備に努めます。
 - ・ **既存施設の活用を優先**しますが、統廃合や認定こども園化に伴い必要性が生じた場合には、移転や新設を検討します。
 - ・ 施設の複合化（学校等との施設の一体化など）を検討します。
- ③ 環境等に配慮した整備を推進します。
 - ・ 利用者に配慮した**バリアフリー化**や、環境に配慮した**省電力化など**を検討します。

5 地域（中学校区）ごとの適正化等の進め方 ～ 標準モデル ～

(1) 市立幼稚園・保育園の両方がある地域

- ・原則1園を拠点園に設定します。（幼稚園・保育園それぞれに設定する場合があります。）
- ・園児数の減少などの状況を踏まえ、拠点園等との統廃合を検討します。
- ・統廃合を進める中で、地域内・近隣地域内の需給状況や地域・保護者のニーズなどを踏まえ、認定こども園化を検討します。

(2) 市立幼稚園のみの地域

- ・原則1園を拠点園に設定します。
- ・園児数の減少などの状況を踏まえ、拠点園等との統廃合を検討します。
- ・統廃合に合わせ、預かり保育を充実します。

(3) 市立保育園のみの地域

- ・原則1園を拠点園に設定します。
- ・園児数の減少などの状況を踏まえ、拠点園との統廃合を検討します。
- ・統廃合を進める中で、地域内・近隣地域内の需給状況や地域・保護者のニーズなどを踏まえ、認定こども園化を検討します。

(4) 市立幼稚園・保育園がない地域

- ・拠点園は設定しません。
- ※ 私立園による幼児教育・保育の提供が難しくなった場合には、提供体制について検討します。

6 規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方

(1) 規模適正化

＜統廃合検討開始の目安＞

- ・4月1日時点の1学年(3歳児)の園児数が、**2年続けて「5人未満」**となったとき
- ・統廃合に関して、保護者及び地域の合意があり、**保護者及び地域から要望**があったとき
- ・地域の就学前施設の状態や人口推計などにより、統廃合することが合理的と判断したとき
- ・施設が老朽化し、建替えまたは建替えに近い規模での改修が必要になったとき

～ 検討の流れ ～

- ① <統廃合検討開始の目安>に該当する園の検討
- ② 地域や市全体の幼児教育・保育の状況などを踏まえ、統廃合の妥当性について検証
- ③ 保護者、地元自治会、地域内の私立園など関係者との調整(統廃合の時期、統廃合後の通園支援や跡地利用などについて意見交換)
- ④ 議会、区協議会への説明
- ⑤ 統廃合の決定

(2) 拠点園の設定

- ・拠点園を、中学校区に原則1園設定します。※
- ・拠点園は、原則、運営を継続します。
- ・**地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担うモデル園を拠点園の中から設定し、効果や課題などを検証**します。

※ 幼稚園と保育園の双方がある中学校区は、それぞれに拠点園を設定する場合があります。

※ 私立園が地域の需要を十分カバーできている中学校区については、拠点園を設定しない場合があります。

※ 小規模園(全園児15人以下程度)は、拠点園に設定しない場合があります。

※ 面積が広く、統廃合した場合、著しく通園が困難になるなど、特段の事情がある場合には、拠点園の設定に考慮します。

～ 拠点園選定の視点 ～

- ✓ 他園と比べて園児数が多く、将来的にも減少見込みが少ない。
- ✓ 十分な部屋数があるなど、施設の機能が整っている。
- ✓ 他園と比べて施設の状態が良い。
- ✓ 利便性の高い場所に立地している。
- ✓ ハザードマップなどから、災害等で被災する可能性が低い。
- ✓ 借地がない。 など

(3) 認定こども園化

- ・認定こども園の設置や移行は、幼稚園と保育園の統合や、保育園の認定こども園化を基本とします。
- ・幼稚園の認定こども園化は、保育需要や私立園の需給状況を十分に検証し慎重に検討します。
- ・認定こども園化にあたっては、**効果や課題などを検証**し、今後の拡大について検討します。

7 方針運用にあたっての配慮事項等

(1) 地域性への配慮

- ・保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、統廃合が必要とされる場合には慎重に検討を進めます。
- ・中山間地域の市立園は、地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、統廃合検討開始の目安(2年続けて「5人未満」になったとき)に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、保護者や地元自治会などとともに園のあり方について検討します。
- ・統廃合が難しい園においては、集団での学びを補完するため、他園や小学校との交流事業などの充実を図ります。

(2) 統廃合への配慮

- ・統廃合にあたっては、運営の擦り合わせなどを行う十分な期間を確保するとともに、統廃合後スムーズに園生活を送ることができるよう、交流事業などを実施します。
- ・統廃合により閉園する際には、在園児の保護者などの意向を確認したうえで、新入園児の募集停止や閉園する時期などを決定します。
- ・統廃合により、著しく通園が不便になる地域については、園児の心身の負担などを考慮したうえで通園バスによる送迎などを検討します。
- ・統合後は、保護者などへのアンケート調査を行い、園の状況などの把握に努めます。

(3) 私立園との連携

- ・定員変更や施設整備などにあたっては、私立園に及ぼす影響などを考慮します。
- ・幼児教育・保育に関する情報交換や合同研修など、地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園を中心に私立園と市立園の連携を促進します。

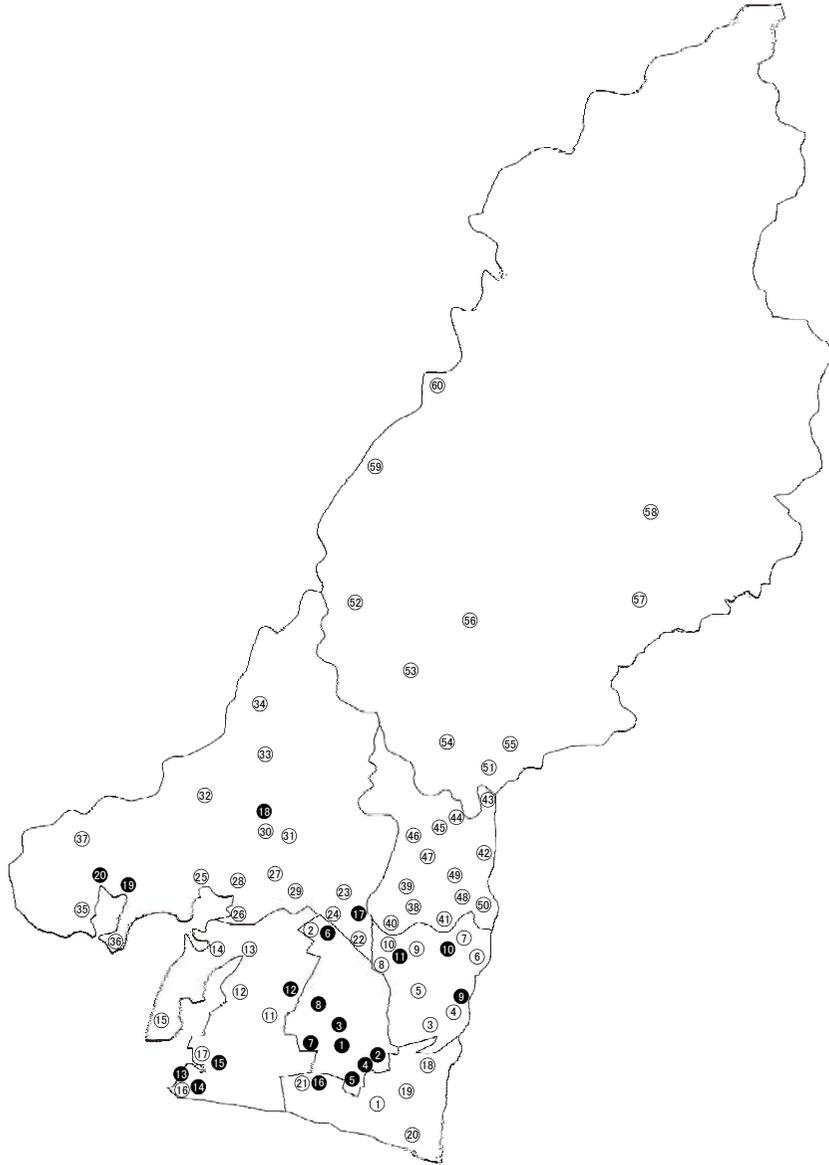
(4) その他

- ・少子化による園児数の減少や、幼稚園教諭・保育士等の確保がさらに難しくなることを踏まえ、持続可能で効率的・効果的な幼児教育・保育の提供体制の整備に努めます。
- ・この方針は、就学前施設に係る制度改正や社会環境の変化に合わせ、必要に応じて見直しを検討します。

8 スケジュール

作業内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
(1) 方針の運用等	完成	進捗管理、必要に応じて内容の見直し			
(2) 統廃合等による適正規模の確保等	統廃合に関する検討・調整・実施				
(3) 拠点園の設定	選定・決定	必要に応じて見直し			
(4) 地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園(モデル園)の設定、効果・課題の検証	選定・決定	実施、効果・課題の検証	本格実施		
(5) 市立認定こども園化の検討、選定、効果・課題の検証	選定・決定・準備	開設、効果・課題の検証		本格実施	
(6) 市立幼稚園・保育園の各種制度や実施園の見直し(預かり保育、発達支援など)	検討・決定	実施、進捗管理、必要に応じて内容・実施園の見直し			
(7) 施設の修繕等に関する計画	検討・策定	実施、進捗管理、必要に応じて内容・実施園の見直し			

浜松市立幼稚園・保育園 位置図



園児数: 令和5年4月1日現在

市立幼稚園	市立保育園		中学校区
	園児数	園児数	
① 白脇幼稚園	41	① 鴨江保育園 93 ② 寺島保育園 112 ③ 西保育園 72	1 西部中 2 南部中 3 北部中 4 中部中 5 八幡中 6 曳馬中
② 花川幼稚園	4	④ 南保育園 98 ⑤ 江西保育園 79	7 江西中 8 蛭塚中 9 高台中 10 開成中
③ 和田幼稚園	16	⑥ 花川保育園 65 ⑦ 佐鳴台保育園 115 ⑧ 権現谷保育園 119	11 佐鳴台中 12 富塚中 13 天竜中
④ 中ノ町幼稚園	30	⑨ 中ノ町保育園 70	14 与進中
⑤ 与進幼稚園	48	⑩ 笠井保育園 85	15 笠井中
⑥ 豊西幼稚園	53	⑪ 積志保育園 92	16 積志中 17 丸塚中
⑦ 笠井幼稚園	45		18 中郡中
⑧ 有玉幼稚園	21	⑫ 神田原保育園 74	19 神久呂中 20 入野中
⑨ 万斛幼稚園	43		21 湖東中
⑩ 橋爪幼稚園	54		22 篠原中
⑪ 神久呂幼稚園	20	⑬ 舞阪第1保育園 44 ⑭ 舞阪第2保育園 49	23 庄内中
⑫ 伊佐見幼稚園	13	⑮ 雄踏保育園 126	24 舞阪中
⑬ 和地幼稚園	8		25 雄踏中 26 東部中 27 新津中
⑭ 北庄内幼稚園	21		28 南陽中 29 江南中 30 東陽中
⑮ 村櫛幼稚園	8	⑯ 可美保育園 139	31 可美中
⑯ 舞阪幼稚園(休園)	0		
⑰ 雄踏幼稚園	72		
⑱ 飯田幼稚園	11		
⑲ 芳川幼稚園	21		
⑳ 南の星幼稚園	20		
㉑ 可美幼稚園	55		

市立幼稚園	市立保育園		中学校区
	園児数	園児数	
㉒ 初生幼稚園	47		32 北星中 33 都田中
㉓ 豊岡幼稚園	22	⑩ 三方原保育園 83	34 三方原中
㉔ 三方原幼稚園	21		
㉕ 西気賀幼稚園	6		
㉖ 伊目幼稚園	10		35 細江中
㉗ 中川幼稚園	45		
㉘ 中央幼稚園	13		
㉙ 高台幼稚園	12		
㉚ 引佐幼稚園	59	⑩ 引佐保育園 72	36 引佐南部中
㉛ 金指幼稚園	9		
㉜ 奥山幼稚園	12		
㉝ 伊平幼稚園	3		
㉞ 引佐北部みさと幼稚園	10		37 引佐北部中
㉟ 尾奈幼稚園	32	⑩ 都筑保育園 54	
㊱ 大崎幼稚園	18	㉑ 三ヶ日保育園 93	38 三ヶ日中
㊲ 平山幼稚園	6		
㊳ 小松幼稚園	48		
㊴ 平口幼稚園(休園)	0		39 浜名中
㊵ 内野幼稚園	25		
㊶ 北浜南幼稚園	40		40 北浜中
㊷ 中瀬幼稚園	78		
㊸ 上島幼稚園	14		41 浜北北部中
㊹ 赤佐幼稚園	43		
㊺ 赤佐西幼稚園	27		
㊻ 宮口幼稚園	37		42 鹿玉中
㊼ 新原幼稚園	22		
㊽ 北浜中央幼稚園	37		
㊾ 北浜北幼稚園	20		43 北浜東部中
㊿ 北浜東幼稚園	26		
1 二俣幼稚園	27		
2 熊幼稚園	3		44 清竜中
3 上阿多古幼稚園	5		
4 下阿多古幼稚園	15		
5 光明幼稚園	58		45 光が丘中
6 竜川幼稚園(休園)	0		
7 大居幼稚園	5		46 春野中
8 気田幼稚園	11		47 水窪中
9 浦川幼稚園(休園)	0		48 佐久間中
10 佐久間幼稚園	3		
60園	1,473	20園	1,734 48校(分校除く)

※ 幼稚園・保育園の所在地から中学校区を整理

浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針 用語解説

1 浜松市の就学前施設（令和5年4月1日時点、認可外保育施設除く）

施設種類	市立	私立	合計
幼稚園	60 ※	39	99
保育所（保育園）	20	39	59
認定こども園	—	79	79
その他 ※	—	64	64
合計	80	221	301

※ 市立幼稚園の施設数には、休園中の4園を含む。

※ その他は、「小規模保育事業（53）」及び「事業所内保育事業（11）」

（1）幼稚園

- ・ 小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う学校。
- ・ 浜松市立幼稚園では、3歳児から5歳児までが対象。

（2）保育所（保育園）

- ・ 保護者が就労等により子供を保育できない場合、保護者に代わって保育を行う施設。
- ・ 0歳児から5歳児までの子供が対象。

（3）認定こども園

- ・ 幼稚園と保育所の機能をあわせ持ち、教育と保育を一体的に行うとともに、地域の子育て支援も行う施設。
- ・ 0歳児から5歳児までの子供が対象。

※ 各園の違いについては、子育て情報サイト「ぴっぴ」の「認定こども園・幼稚園・保育園の違い」をご参照ください。



2 統廃合

- ・ 園児数の減少などにより、園同士を統合したり、閉園したりすること。
- ・ 統廃合には、他園に吸収される形で閉園する場合や、複数の園を閉園し、新たな園を設置する場合など、様々なケースが想定される。

3 預かり保育

- ・ 幼稚園において、通常の教育時間の前後に在園児を預かる保育のこと。
- ・ 本市の市立幼稚園では、令和5年度、休園中4園を除く56園のうち、21園が実施しており、実施日や実施時間は園ごとに異なる。

4 一時預かり事業

- ・ 妊娠や出産、入院等により家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児や幼児に対し、保育所などにおいて、一時的に子供を預かり、必要な保育を行うこと。
- ・ 本市の市立保育園では、令和5年度、全園において実施している。

5 未就園児

- ・ 保育所や幼稚園、認定こども園などの就学前施設に通っていない就学前の子供のこと。

6 予防保全

- ・ 施設や設備などに不具合が生じる前に、あらかじめ改修などを行い、機能や性能を維持すること。
- ・ 日常点検や法定点検、定期的な劣化調査の実施により劣化状況を把握したうえで、計画的な改修を行う。